



B-SA4TM-TS15 - Ethernet 内蔵型 CPU 接続用
FB ライブラリリファレンスマニュアル

東芝テック株式会社

1.	改定履歴	4
2.	概要	4
2.1	FBライブラリ概要	4
2.2	FBライブラリ機能内容	4
2.3	システム構成例	5
2.4	特記事項	6
2.5	Ethernet内蔵形QnUCPUユニット(Q06UDEHCPU)の設定	7
2.5.1	Ethernet内蔵形QnUCPUユニット(Q06UDEHCPU)の動作設定	7
2.5.2	Ethernet内蔵形QnUCPUユニット(Q06UDEHCPU)のオープン設定	8
2.6	EthernetユニットQJ71E71-100 の設定	9
2.6.1	EthernetユニットQJ71E71-100 の動作設定	9
2.6.2	EthernetユニットQJ71E71-100 のイニシャル設定	10
2.6.3	EthernetユニットQJ71E71-100 のオープン設定	11
3.	FBライブラリ詳細	12
3.1	P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm	12
3.2	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar	16
3.3	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine	21
3.4	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine	26
3.5	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1	30
3.6	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2	35
3.7	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart	41
3.8	P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart	45
3.9	P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter	49
3.10	P+TEC-B-SA4TM-E_ReceiveStatus	52
3.11	P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm	55
3.12	P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData	59
3.13	P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR	62
4.	使用例	65
4.1	P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm	65
4.2	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar	67
4.3	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine	70
4.4	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine	73
4.5	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1	75
4.6	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2	78
4.7	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart	81
4.8	P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart	84
4.9	P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter	86
4.10	P+TEC-B-SA4TM-E_ReceiveStatus	88
4.11	P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm	90

4. 12	P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData.....	93
4. 13	P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR.....	95

1. 改定履歴

バージョン	改 定 日	内 容
1.00A	2010/03/09	・ 新規作成

2. 概要

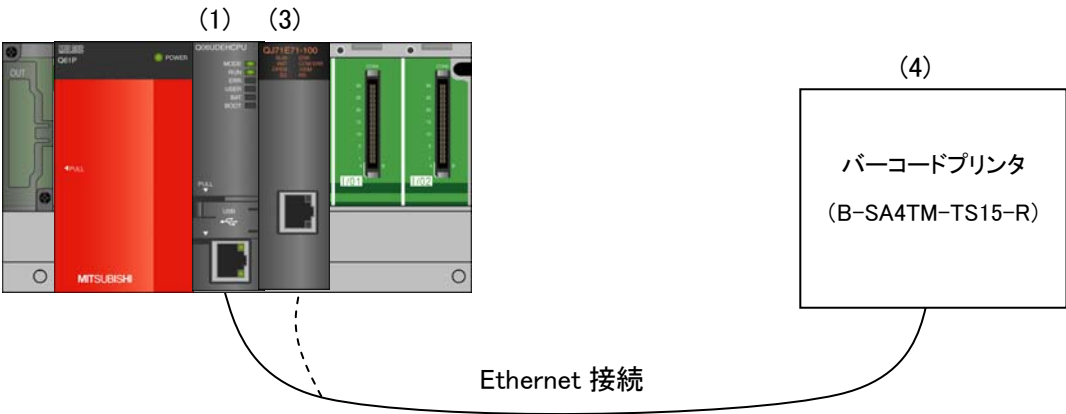
2.1 FBライブラリ概要

本 FB ライブラリは、Ethernet 内蔵 CPU を利用して、東芝テック製バーコードプリンタ(B-SA4TM-TS15-R)でのラベル・バーコード等の発行を行うシステムの FB ライブラリです。

2.2 FBライブラリ機能内容

No.	項 目	内 容
1	P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm	印字フォーマットを設定し、バーコードプリンタ内部のバッファをクリアします。
2	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar	印字する文字列(ビットマップフォント:サイズ、位置等)を設定します。
3	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine	印字する文字列(アウトラインフォント:サイズ、位置等)を設定します。
4	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine	印字するライン(種類、サイズ等)を設定します。
5	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1	印字するバーコード(種類、サイズ等)を設定します。
6	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2	印字するバーコード(種類、サイズ等)を設定します。
7	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart	印字を開始します。
8	P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart	用紙をフィードします。
9	P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter	プリンタを電源投入時の状態に戻します。
10	P+TEC-B-SA4TM-E_ReceiveStatus	プリンタよりステータスを受信します。
11	P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm	印字する QR コード(種類、サイズ等)を設定します。
12	P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData	印字する QR コード(印字文字列)を設定します。
13	P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR	QR コード情報の終端命令を送信します。

2. 3 システム構成例



No.	機 器 名	説 明	
1	Q シリーズ シーケンサ	ベースユニット、電源ユニット、Q シリーズ Ethernet 内蔵形 QnUCPU ユニット（シリアル No.の上 5 桁が“11012”以降の CPU ユニット）を使用します。	
		モデル	適用 CPU 形名
		MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
		※QCPU(A モード)使用不可	
2	GX Works2	Version1.09K 以降を使用します。	
3	QJ71E71-100	Q シリーズ シーケンサ Ethernet ユニット	
4	バーコードプリンタ	東芝テック製バーコードプリンタ(B-SA4TM-TS15-R)	

2. 4 特記事項

5	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1
6	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2

上記 2 つに関しましては、印字するバーコードの種類により以下のような使い分けとなります。

P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2
JAN8/JAN13	MSI
EAN8/EAN13	インターリーブド 2 of 5
EAN8+2digits	CODE39(スタンダード)
EAN8+5digits	CODE39(フルアスキー)
EAN13+2digits	NW7
EAN13+5digits	インダストリアル 2 of 5
UPC-A	MATRIX 2 of 5 for NEC
UPC-A+2digits	
UPC-A+5digits	
UPC-E	
UPC-E+2digits	
UPC-E+5digits	
CODE93	
CODE128(コード自動切換え有り)	
CODE128(コード自動切換えなし)	
UCC/EAN128	
カスタマーバーコード (日本仕様ポストコード)	
最優先カスタマーバーコード (日本仕様ポストコード)	
POSTNET (アメリカ仕様ポストコード)	
RM4SCC (ROYAL MAIL 4 STAGE CUSTOMER CODE) (イギリス仕様ポストコード)	
KIX CODE (ベルギー仕様ポストコード)	

2. 5 Ethernet内蔵形QnUCPUユニット(Q06UDEHCPU)の設定

2. 5. 1 Ethernet内蔵形QnUCPUユニット(Q06UDEHCPU)の動作設定

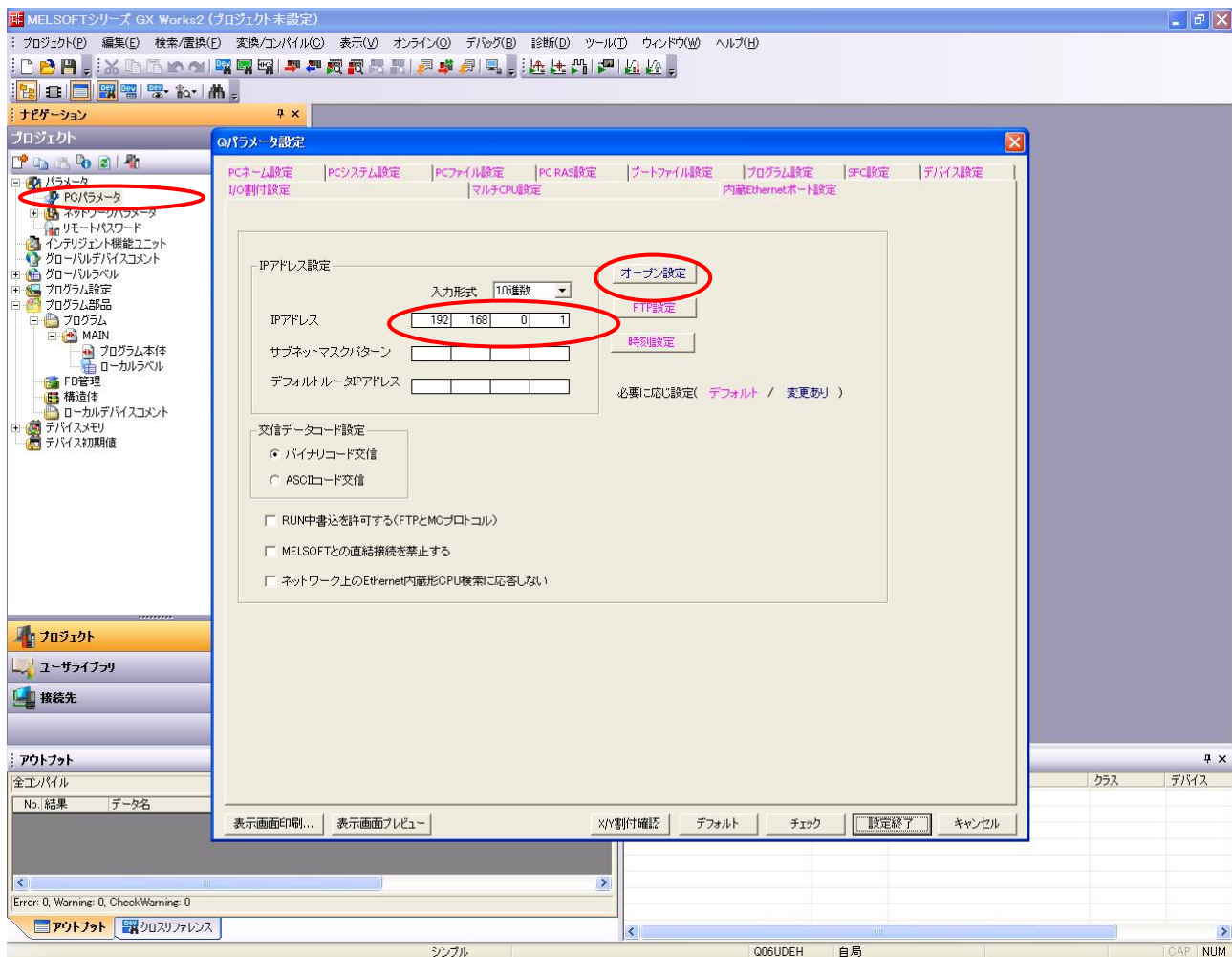
本プログラムで使用する Ethernet 内蔵形 QnUCPU ユニット(Q06UDEHCPU)の設定を説明します。

GX Works2 を用いて、以下の項目を設定します。

(1)IP アドレス

Ethernet ユニットの IP アドレスを「192.168.0.1」と設定します。

下図は GX Works2 です。



2. 5. 2 Ethernet内蔵形QnUCPUユニット(Q06UDEHCPU)のオープン設定

(1)ソケット通信設定

コネクション No.はシステムに合わせて選択してください。

このコネクション No.は FB に入力するコネクション No.となります。

- (a)プロトコル

「TCP」を設定します。
- (b)オープン方式

「ソケット通信」を指定します。
- (c)TCP 接続方式

「Active」を指定します。
- (d)自局ポート番号(16 進数)

パートナー様接続機器の設定に合わせて、16 進数で入力します。
「0BB8」を入力します。
- (e)通信相手 IP アドレス

パートナー様接続機器設定に合わせて、10 進数で入力します。
「192.168.0.2」を入力します。
- (f)通信相手ポート番号(16 進数)

パートナー様接続機器の設定に合わせて、16 進数で入力します。
「0BB8」を入力します。

GX Works2 を用いて、2 つのコネクションオープン設定をします。

内蔵Ethernetポート オープン設定

	プロトコル	オープン方式	TCP接続方式	自局 ポート番号	通信相手 IPアドレス	通信相手 ポート番号
1	TCP	ソケット通信	Active	0BB8	192.168.0.2	0BB8
2	TCP	MELSOFT接続				
3	TCP	MELSOFT接続				
4	TCP	MELSOFT接続				
5	TCP	MELSOFT接続				
6	TCP	MELSOFT接続				
7	TCP	MELSOFT接続				
8	TCP	MELSOFT接続				
9	TCP	MELSOFT接続				
10	TCP	MELSOFT接続				
11	TCP	MELSOFT接続				
12	TCP	MELSOFT接続				
13	TCP	MELSOFT接続				
14	TCP	MELSOFT接続				
15	TCP	MELSOFT接続				
16	TCP	MELSOFT接続				

自局ポート番号、通信相手ポート番号：ポート番号を16進数で入力してください。

設定終了

キャンセル

2. 6 EthernetユニットQJ71E71-100 の設定

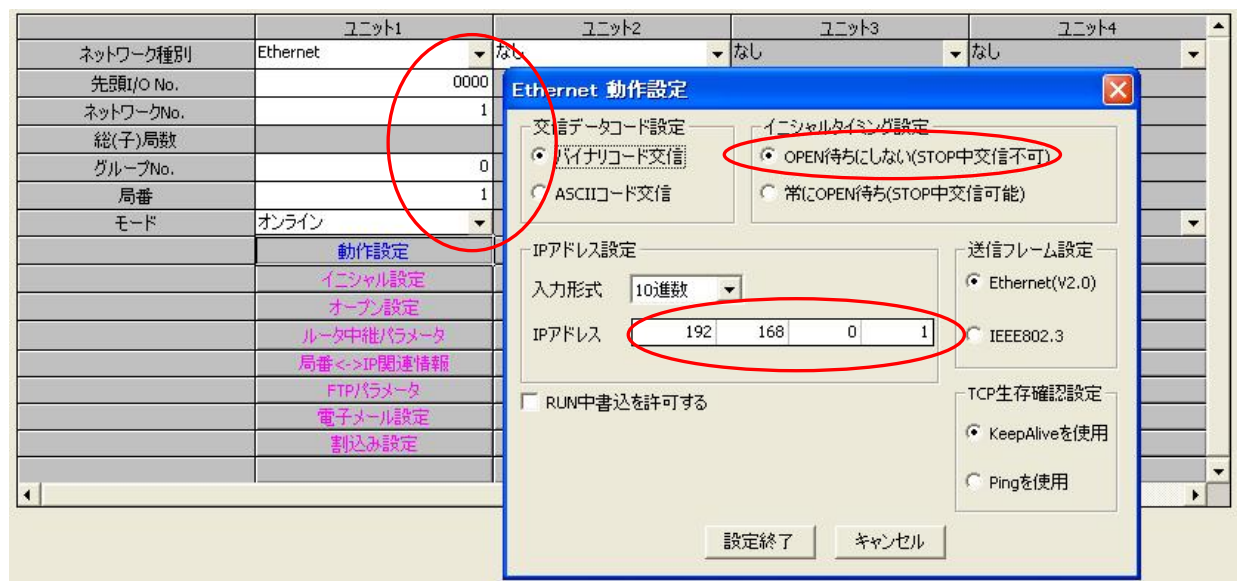
2. 6. 1 EthernetユニットQJ71E71-100 の動作設定

本プログラムで使用する QJ71E71-100 の設定を説明します。

GX Works2 を用いて、以下の項目を設定します。

- | | |
|------------------|---|
| (1) 先頭 I/O No. | 装着ユニット No.に合わせて入力します。
スロット 0 に装着した場合、「0000」を設定します。 |
| (2) ネットワーク No. | ネットワーク構成に合わせて入力します。
「1」を設定します。 |
| (3) 局番 | ネットワーク構成に合わせて入力します。
「1」を設定します。 |
| (4) 自局 IP アドレス | Ethernet ユニットの IP アドレスを設定します。
本プログラムでは「192.168.0.1」を設定します。 |
| (5) イニシャルタイミング設定 | 「OPEN 待ちにしない(STOP 中交信不可)」を選択します。 |

下図は GX Works2 です。



2. 6. 2 EthernetユニットQJ71E71-100 のイニシャル設定

QJ71E71-100 の生存確認の設定値は、以下の項目を設定することで変更が可能です。

- 相手先 生存確認開始間隔タイマ
- 相手先 生存確認間隔タイマ
- 相手先 生存確認再送回数

タイマ設定

設定値をblankで設定すると、ユニットはデフォルト値で動作します。

	設定値	デフォルト値	単位
TCP ULPタイマ		60	×500ms
TCP ゼロウィンドウタイマ		20	×500ms
TCP 再送タイマ		20	×500ms
TCP 終了タイマ		40	×500ms
IP組立てタイマ		10	×500ms
レスポンス監視タイマ		60	×500ms
相手先 生存確認開始間隔タイマ		1200	×500ms
相手先 生存確認間隔タイマ		20	×500ms
相手先 生存確認再送回数		3	回

DNS設定

入力形式 10進数

DNSサーバ1のIPアドレス				
DNSサーバ2のIPアドレス				
DNSサーバ3のIPアドレス				
DNSサーバ4のIPアドレス				

設定終了

キャンセル

2. 6. 3 EthernetユニットQJ71E71-100 のオープン設定

(1)TCP 通信設定

コネクション No.はシステムに合わせて選択して下さい。
このコネクション No.は FB に入力するコネクション No.となります。

- (a)プロトコル

「TCP」と設定します。
- (b)オープン方式

「Active」と設定します。
- (c)固定バッファ送信手順

「手順なし」と設定します。
- (d)ペアリングオープン

「ペアにする」と設定します。
- (e)生存確認

「確認する」と設定します。
- (f)自局ポート番号(16 進数)

パートナー様接続機器の設定に合わせて 16 進数で入力します。
「0BB8」を入力します。
- (g)通信相手 IP アドレス

パートナー様接続機器の設定に合わせて 10 進数で入力します。
「192.168.0.2」を入力します。
- (h)通信相手ポート番号(16 進数)

パートナー様接続機器の設定に合わせて 16 進数で入力します。
「0BB8」を入力します。

GX Works2 を用いて、2 つのコネクションオープン設定をします。

	プロトコル	オープン方式	固定バッファ	固定バッファ 送信手順	ペアリング オープン	生存確認	自局 ポート番号	通信相手 IPアドレス	通信相手 ポート番号
1	TCP	Active	受信	手順無し	ペアにする	確認する	0BB8	192.168. 0. 2	0BB8
2	TCP	Active	送信	手順無し	ペアにする	確認する	0BB8	192.168. 0. 2	0BB8
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									

自局ポート番号、通信相手ポート番号：ポート番号を16進数で入力してください。

設定終了

キャンセル

3. FBライブラリ詳細

3. 1 P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm

機能内容

項目	内容					
機能概要	バーコードプリンタへ印字フォーマットをセットし、プリンタ内部のバッファをクリアします。					
シンボル	<div><div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm</div><div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>コネクションNo.</div><div>W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値</div><div>W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div>ラベル・タグピッチ</div><div>S : i_LabelPitch</div><div></div><div></div></div><div><div>有効印字幅</div><div>S : i_PrintWidth</div><div></div><div></div></div><div><div>有効印字長</div><div>S : i_PrintLength</div><div></div><div></div></div><div><div>台紙幅</div><div>S : i_MountWidth</div><div></div><div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU				
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table> ※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU ※QCPU(A モード)使用不可	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
	モデル	適用 CPU 形名				
	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル				
GX Works2	Version1.09K 以上					
使用言語	ラダー					
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合 : 554 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。					
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入力ラベルに設定されている各値を、バーコードプリンタの印字フォーマットとしてセットし、プリンタ内部のバッファをクリアします。					
FB コンパイル方式	マクロ型					
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)					

項目	内容	
入出力信号の動き	【正常終了の場合】	【異常終了の場合】
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 ・ 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。 	
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザーズマニュアル(基本編)	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	ラベル・タグピッチに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	有効印字幅に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	有効印字長に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	台紙幅に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入力ラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。
ラベル・タグピッチ	i_LabelPitch	文字列	0100～9990	ラベル、タグのピッチを 0.1mm 単位で入力して下さい。
有効印字幅	i_PrintWidth	文字列	0100～1057	印字可能な幅を 0.1mm 単位で入力して下さい。
有効印字長	i_PrintLength	文字列	0060～9970	有効可能な長さを 0.1mm 単位で入力して下さい。
台紙幅	i_MountWidth	文字列	0300～1120	台紙の幅を 0.1mm 単位で入力して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(ラベルサイズ設定コマンド)」を参照して下さい

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。

GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

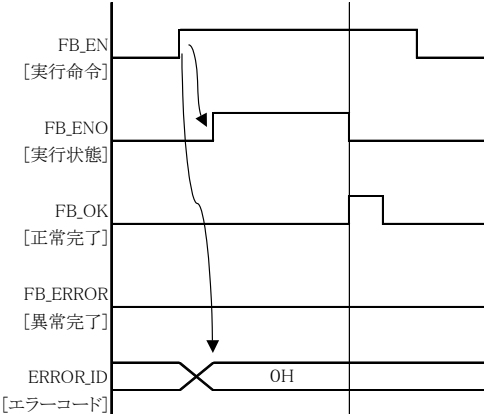
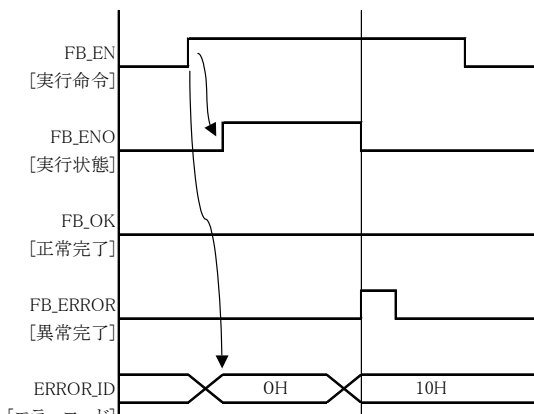
3. 2 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar

機能内容

項目	内容
機能概要	印字する文字列(ビットマップフォント:サイズ、位置等)を設定します。
シンボル	<div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar</div><div><div>実行命令</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>コネクションNo.</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div>文字列No</div><div>S : i_StringNo</div><div></div></div><div><div>基点X座標</div><div>S : i_BasePointX</div><div></div></div><div><div>基点Y座標</div><div>S : i_BasePointY</div><div></div></div><div><div>文字の横倍率</div><div>S : i_ExtendWidth</div><div></div></div><div><div>文字の縦倍率</div><div>S : i_ExtendLength</div><div></div></div><div><div>フォント種類</div><div>S : i_Font</div><div></div></div><div><div>文字間スペース微調整</div><div>S : i_Space</div><div></div></div><div><div>文字、文字列回転調整</div><div>S : i_Rotation</div><div></div></div><div><div>文字飾り指定</div><div>S : i_Decoration</div><div></div></div><div><div>強調文字指定</div><div>S : i_Emphasis</div><div></div></div><div><div>チェックデジット付加指定</div><div>S : i_CheckDigit</div><div></div></div><div><div>インクリメント/デクリメント指定</div><div>S : i_Inc_Dec</div><div></div></div><div><div>ゼロサプレス指定</div><div>S : i_ZeroSuppress</div><div></div></div><div><div>文字寄せ</div><div>S : i_Draw</div><div></div></div><div><div>印字文字列</div><div>S : i_PrintString</div><div></div></div></div>

項目	内容		
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU	
	対象 CPU		
		モデル	適用 CPU 形名
		MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
	※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU		
	※QCPU(A モード)使用不可		
GX Works2	Version1.09K 以上		
使用言語	ラダー		
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合:849 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。		
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入力ラベルに設定されている各値を、印字文字列の情報としてバーコードプリンタへセットします。		
FB コンパイル方式	マクロ型		
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)		
入出力信号の動き	<div>【正常終了の場合】</div> <div></div> <div>【異常終了の場合】</div> <div></div>		
制約事項 (注意事項)	<div><div></div><div>・ 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。</div><div>・ 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。</div></div>		
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザーズマニュアル(基本編)		

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
--------	----	------

エラーコード	内容	処置方法
10	文字列 No に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	基点 X 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	基点 Y 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	文字の横倍率に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	文字の縦倍率に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
15	フォント種類に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
16	文字間スペース微調整に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
17	文字、文字列回転調整に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
18	文字飾り指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
19	強調文字指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
20	チェックデジット付加指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
21	インクリメント/デクリメント指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
22	ゼロサプレス指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
23	文字寄せに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
24	印字文字列に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
文字列 No	i_StringNo	文字列	000～199	文字列番号(一度の発行 FB 呼び出しの中で重複しない番号)を指定して下さい。 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOut Line の文字列 No と重複しても問題はありません。
基点 X 座標	i_BasePointX	文字列	※	文字列の基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	i_BasePointY	文字列	※	文字列の基点 Y 座標を指定して下さい。
文字の横倍率	i_ExtendWidth	文字列	※	文字の横倍率を指定して下さい。
文字の縦倍率	i_ExtendLength	文字列	※	文字の縦倍率を指定して下さい。
フォント種類	i_Font	文字列	※	フォントの種類を指定して下さい。
文字間スペース微調整	i_Space	文字列	※	文字間に設定するスペースの幅を指定して下さい。
文字、文字列回転調整	i_Rotation	文字列	※	文字、及び文字列の回転方向と角度を指定して下さい。
文字飾り指定	i_Decoration	文字列	※	文字飾りの種類を指定して下さい。
強調文字指定	i_Emphasis	文字列	※	文字強調の内容を指定して下さい。
チェックデジット付加指定	i_CheckDigit	文字列	※	チェックデジットの種類を指定して下さい。
インクリメント/デクリメント指定	i_Inc_Dec	文字列	※	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	i_ZeroSuppress	文字列	※	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
文字寄せ	i_Draw	文字列	※	文字寄せの種類、位置を指定して下さい。
印字文字列	i_PrintString	文字列	174 バイト	印字するデータ列を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(ビットマップフォントフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。

GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

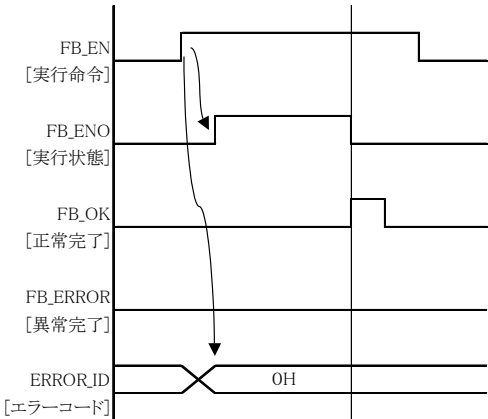
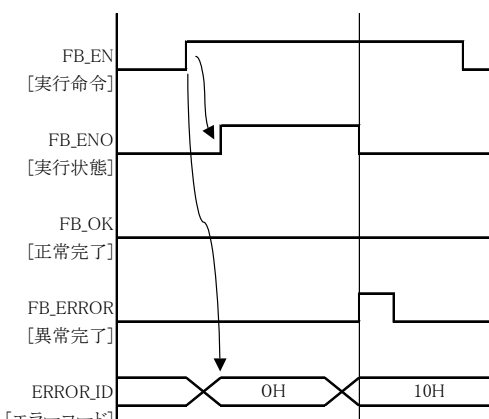
3. 3 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine

機能内容

項目	内容
機能概要	印字する文字列(アウトラインフォント:サイズ、位置等)を設定します。
シンボル	<div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine</div><div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>コネクションNo.</div><div>W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値</div><div>W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div>文字列No</div><div>S : i_StringNo</div><div></div><div></div></div><div><div>基点X座標</div><div>S : i_BasePointX</div><div></div><div></div></div><div><div>基点Y座標</div><div>S : i_BasePointY</div><div></div><div></div></div><div><div>文字幅</div><div>S : i_ExtendWidth</div><div></div><div></div></div><div><div>文字高</div><div>S : i_ExtendLength</div><div></div><div></div></div><div><div>フォント種類</div><div>S : i_Font</div><div></div><div></div></div><div><div>文字間スペース微調整</div><div>S : i_Space</div><div></div><div></div></div><div><div>文字、文字列回転調整</div><div>S : i_Rotation</div><div></div><div></div></div><div><div>文字飾り指定</div><div>S : i_Decoration</div><div></div><div></div></div><div><div>チェックデジット付加指定</div><div>S : i_CheckDigit</div><div></div><div></div></div><div><div>インクリメント/デクリメント指定</div><div>S : i_Inc_Dec</div><div></div><div></div></div><div><div>ゼロサプレス指定</div><div>S : i_ZeroSuppress</div><div></div><div></div></div><div><div>文字寄せ</div><div>S : i_Draw</div><div></div><div></div></div><div><div>印字文字列</div><div>S : i_PrintString</div><div></div><div></div></div></div>

項目	内容		
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU	
	対象 CPU		
		モデル	適用 CPU 形名
		MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
	※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU		
	※QCPU(A モード)使用不可		
GX Works2	Version1.09K 以上		
使用言語	ラダー		
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合:827 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。		
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入力ラベルに設定されている各値を、印字文字列の情報としてバーコードプリンタへセットします。		
FB コンパイル方式	マクロ型		
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)		
入出力信号の動き	<div>【正常終了の場合】</div> <div></div> <div>【異常終了の場合】</div> <div></div>		
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none">本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。		
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザーズマニュアル(基本編)		

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
--------	----	------

エラーコード	内容	処置方法
10	文字列 No に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	基点 X 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	基点 Y 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	文字幅に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	文字高に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
15	フォント種類に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
16	文字間スペース微調整に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
17	文字、文字列回転調整に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
18	文字飾り指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
19	チェックデジット付加指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
20	インクリメント/デクリメント指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
21	ゼロサプレス指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
22	文字寄せに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
23	印字文字列に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
文字列 No	i_StringNo	文字列	00～99	文字列番号（一度の発行 FB 呼び出しの中で重複しない番号）を指定して下さい。P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar の文字列 No と重複しても問題はありません。
基点 X 座標	i_BasePointX	文字列	※	文字列の基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	i_BasePointY	文字列	※	文字列の基点 Y 座標を指定して下さい。
文字幅	i_ExtendWidth	文字列	※	文字の横倍率を指定して下さい。
文字高	i_ExtendLength	文字列	※	文字の縦倍率を指定して下さい。
フォント種類	i_Font	文字列	※	フォントの種類を指定して下さい。
文字間スペース微調整	i_Space	文字列	※	文字間に設定するスペースの幅を指定して下さい。
文字、文字列回転調整	i_Rotation	文字列	※	文字、及び文字列の回転方向と角度を指定して下さい。
文字飾り指定	i_Decoration	文字列	※	文字飾りの種類を指定して下さい。
チェックデジット付加指定	i_CheckDigit	文字列	※	チェックデジットの種類を指定して下さい。
インクリメント/デクリメント指定	i_Inc_Dec	文字列	※	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	i_ZeroSuppress	文字列	※	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
文字寄せ	i_Draw	文字列	※	文字寄せの種類、位置を指定して下さい。
印字文字列	i_PrintString	文字列	184 バイト	印字するデータ列を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(アウトラインフォントフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。

GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

3. 4 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine

機能内容

項目	内容					
機能概要	印字するライン(種類、サイズ等)を設定します。					
シンボル	<div><div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine</div><div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>コネクションNo.</div><div>W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値</div><div>W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div>始点X座標</div><div>S : i_StartPointX</div></div><div><div>始点Y座標</div><div>S : i_StartPointY</div></div><div><div>終点X座標</div><div>S : i_EndPointX</div></div><div><div>終点Y座標</div><div>S : i_EndPointY</div></div><div><div>ライン種別</div><div>S : i_LineKind</div></div><div><div>ライン幅</div><div>S : i_LineWidth</div></div><div><div>角丸め半径</div><div>S : i_Radius</div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU				
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table> <div>※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU ※QCPU(A モード)使用不可</div>	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
	モデル	適用 CPU 形名				
	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル				
GX Works2	Version1.09K 以上					
使用言語	ラダー					
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合 : 605 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。					

項目	内容
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入カラベルに設定されている各値を、印字ラインの情報としてバーコードプリンタへセットします。
FB コンパイル方式	マクロ型
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 ・ 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザズマニュアル(基本編)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	始点 X 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	始点 Y 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	終点 X 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	終点 Y 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	ライン種別に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
15	ライン幅に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
16	角丸め半径に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入力ラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。
始点 X 座標	i_StartPointX	文字列	※	ラインの始点 X 座標を指定して下さい。
始点 Y 座標	i_StartPointY	文字列	※	ラインの始点 Y 座標を指定して下さい。
終点 X 座標	i_EndPointX	文字列	※	ラインの終点 X 座標を指定して下さい。
終点 Y 座標	i_EndPointY	文字列	※	ラインの終点 Y 座標を指定して下さい。
ライン種類	i_LineKind	文字列	※	ラインの種類を指定して下さい。
ライン幅	i_LineWidth	文字列	※	ラインの幅を指定して下さい。
角丸め半径	i_Radius	文字列	※	角を丸める際の半径を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(ラインフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。

名称	変数名	データ型	初期値	説明
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。
GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

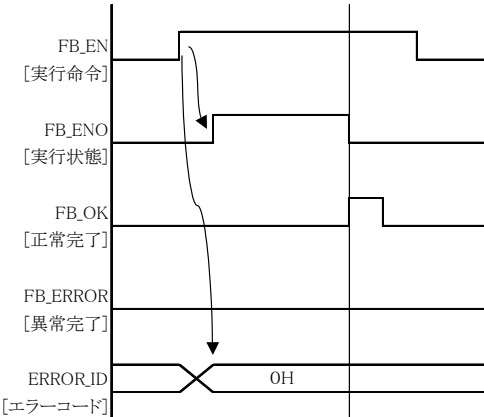
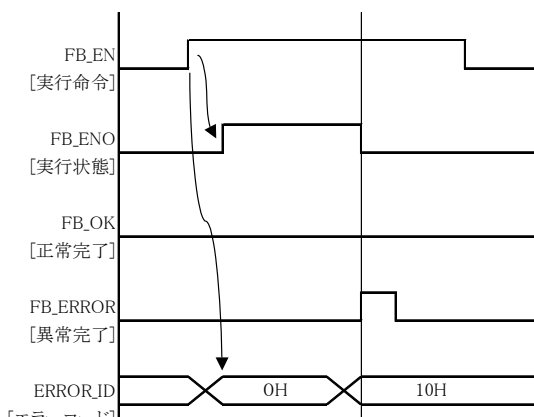
3. 5P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1

機能内容

項目	内容
機能概要	印字するバーコード(種類、サイズ等)を設定します。
シンボル	<div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1</div><div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>コネクションNo.</div><div>W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値</div><div>W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div>バーコードNo</div><div>S : i_BarNo</div><div></div><div></div></div><div><div>基点X座標</div><div>S : i_BasePointX</div><div></div><div></div></div><div><div>基点Y座標</div><div>S : i_BasePointY</div><div></div><div></div></div><div><div>バーコード種類</div><div>S : i_BarKind</div><div></div><div></div></div><div><div>チェックデジット付加指定</div><div>S : i_CheckDigit</div><div></div><div></div></div><div><div>モジュール幅指定</div><div>S : i_ModuleWidth</div><div></div><div></div></div><div><div>バーコード回転方向</div><div>S : i_Rotation</div><div></div><div></div></div><div><div>バーコードの高さ</div><div>S : i_BarLength</div><div></div><div></div></div><div><div>インクリメント/デクリメント指定</div><div>S : i_Inc_Dec</div><div></div><div></div></div><div><div>ガードバーの高さ</div><div>S : i_GBarLength</div><div></div><div></div></div><div><div>バー下数字指定</div><div>S : i_UnderChar</div><div></div><div></div></div><div><div>ゼロサプレス指定</div><div>S : i_ZeroSuppress</div><div></div><div></div></div><div><div>バーコード文字列</div><div>S : i_BarString</div><div></div><div></div></div></div>

項目	内容		
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU	
	対象 CPU		
		モデル	適用 CPU 形名
		MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
		※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU ※QCPU(A モード)使用不可	
GX Works2	Version1.09K 以上		
使用言語	ラダー		
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合:813 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。		
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入カラベルに設定されている各値を、印字バーコードの情報としてバーコードプリンタへセットします。		
FB コンパイル方式	マクロ型		
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)		
入出力信号の動き	【正常終了の場合】	【異常終了の場合】	
			
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none">本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。		
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザーズマニュアル(基本編)		

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	バーコード No に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	基点 X 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。

エラーコード	内容	処置方法
12	基点 Y 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	バーコード種類に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	チェックデジット付加指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
15	モジュール幅指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
16	バーコード回転方向に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
17	バーコードの高さに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
18	インクリメント/デクリメント指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
19	ガードバーの高さに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
20	バー下数字指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
21	ゼロサプレス指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
22	バーコード文字列指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
23	一括省略エラー	インクリメント/デクリメント指定～ゼロサプレス指定で、値の存在する項目と、省略された項目が混在している可能性があります。入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
バーコード No	i_BarNo	文字列	00～31	バーコード番号（一度の発行 FB 呼び出しの中で、重複しない番号）を指定して下さい。 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2、 P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRF orm のバーコード No とも重複しない値を指定して下さい。
基点 X 座標	i_BasePointX	文字列	※	バーコードの基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	i_BasePointY	文字列	※	バーコードの基点 Y 座標を指定して下さい。
バーコード種類	i_BarKind	文字列	※	バーコードの種類を指定して下さい。
チェックデジット 付加指定	i_CheckDigit	文字列	※	チェックデジットの種類を指定して下さい。
モジュール幅指定	i_ModuleWidth	文字列	※	1 モジュールの幅を指定して下さい。
バーコード回転方向	i_Rotation	文字列	※	バーコードの回転方向と角度を指定して下さい。
バーコードの高さ	i_BarLength	文字列	※	バーコードの高さを指定して下さい。
インクリメント/ デクリメント指定	i_Inc_Dec	文字列	※	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
ガードバーの高さ	i_GBarLength	文字列	※	ガードバーの高さを指定して下さい。
バー下数字指定	i_UnderChar	文字列	※	バー下数字の有無を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	i_ZeroSuppress	文字列	※	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
バーコード文字列	i_BarString	文字列	※	印字するバーコードのデータ列を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(バーコードフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■ 出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。

GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

3. 6 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2

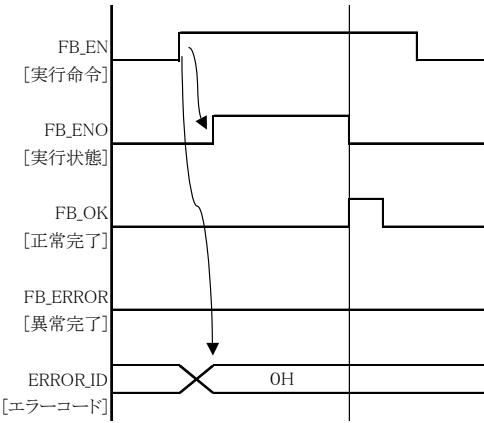
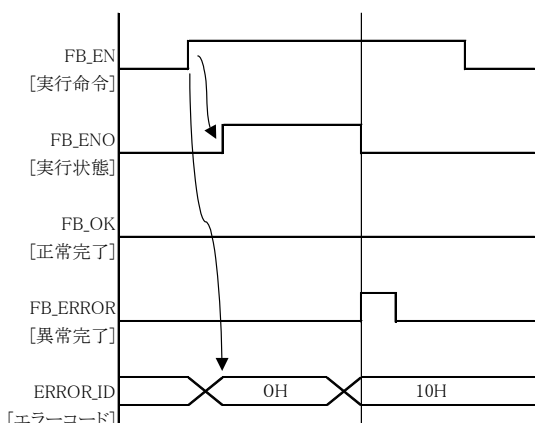
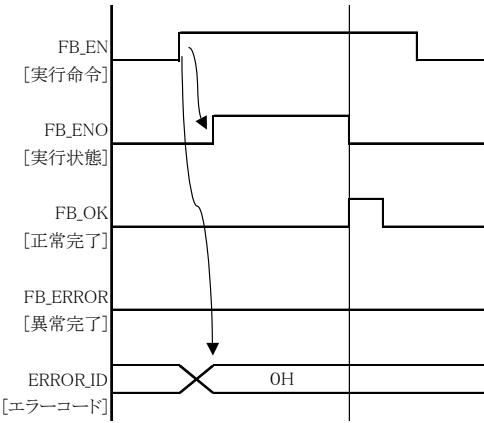
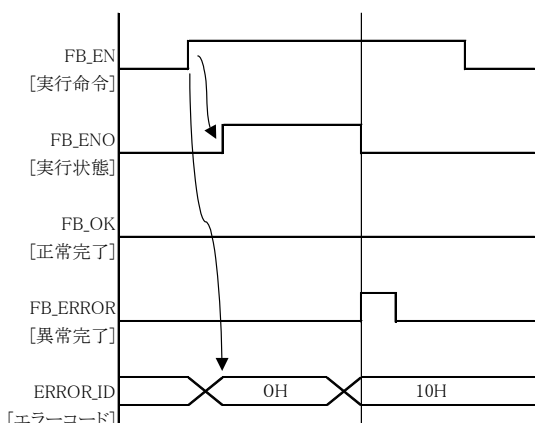
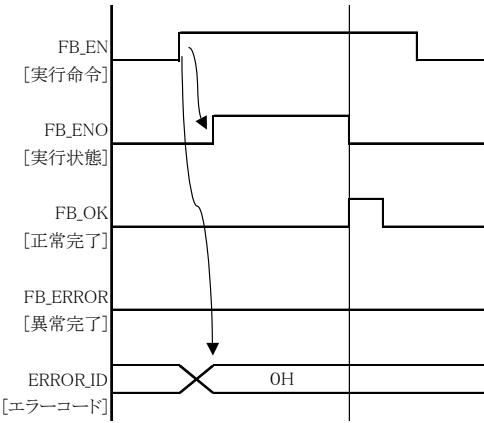
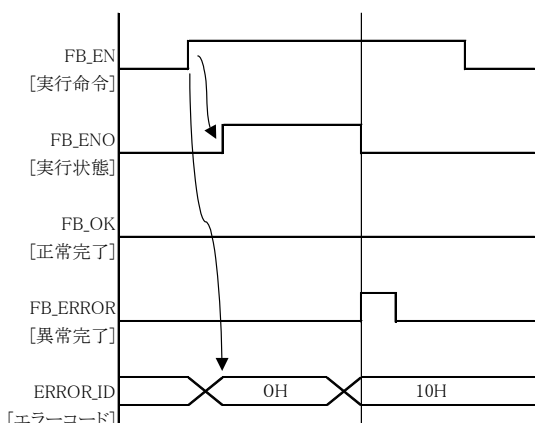
名称

P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2

機能内容

項目	内容
機能概要	印字するバーコード(種類、サイズ等)を設定します。

項目	内容	
シンボル	<div>P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2</div> <div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div> <div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div> <div><div>コネクションNo.</div><div>W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div> <div><div>タイムアウト値</div><div>W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div> <div><div>バーコードNo</div><div>S : i_BarNo</div></div> <div><div>基点X座標</div><div>S : i_BasePointX</div></div> <div><div>基点Y座標</div><div>S : i_BasePointY</div></div> <div><div>バーコード種類</div><div>S : i_BarKind</div></div> <div><div>チェックデジット付加指定</div><div>S : i_CheckDigit</div></div> <div><div>細バー幅指定</div><div>S : i_NarrowBar</div></div> <div><div>細スペース幅指定</div><div>S : i_NarrowSpace</div></div> <div><div>太バー幅指定</div><div>S : i_WideBar</div></div> <div><div>太スペース幅指定</div><div>S : i_WideSpace</div></div> <div><div>キャラクタ間スペース幅の指定</div><div>S : i_CharSpace</div></div> <div><div>バーコード回転方向</div><div>S : i_Rotation</div></div> <div><div>バーコードの高さ</div><div>S : i_BarLength</div></div> <div><div>インクリメント/デクリメント指定</div><div>S : i_Inc_Dec</div></div> <div><div>バー下数字指定</div><div>S : i_UnderChar</div></div> <div><div>ゼロサプレス指定</div><div>S : i_ZeroSuppress</div></div> <div><div>スタート/ストップコード指定</div><div>S : i_StartStopCode</div></div> <div><div>バーコード文字列</div><div>S : i_BarString</div></div>	
	対象機器	<div>対象ユニット</div> <div>QJ71E71-100</div> <div>Ethernet 内蔵 CPU</div>

項目	内容					
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table>	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
		モデル	適用 CPU 形名			
		MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル			
	※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU					
※QCPU(A モード)使用不可						
	GX Works2	Version1.09K 以上				
使用言語	ラダー					
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合:875 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。					
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入カラベルに設定されている各値を、印字バーコードの情報としてバーコードプリンタへセットします。					
FB コンパイル方式	マクロ型					
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)					
入出力信号の動き	<table><tr><td>【正常終了の場合】</td><td>【異常終了の場合】</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		【正常終了の場合】	【異常終了の場合】		
【正常終了の場合】	【異常終了の場合】					
						
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none">本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。					
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザーズマニュアル(基本編)					

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	バーコード No に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	基点 X 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	基点 Y 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	バーコード種類に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	チェックデジット付加指定に問題がありま	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。

エラーコード	内容	処置方法
	す。	
15	細バー幅指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
16	細スペース幅指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
17	太バー幅指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
18	太スペース幅指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
19	キャラクタ間スペース幅の指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
20	バーコード回転方向に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
21	バーコードの高さに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
22	インクリメント/デクリメント指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
23	バー下数字指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
24	ゼロサプレス指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
25	スタート/ストップコード指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
26	バーコード文字列指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
27	一括省略エラー	インクリメント/デクリメント指定～ゼロサプレス指定で、値の存在する項目と、省略された項目が混在している可能性があります。入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
バーコード No	i_BarNo	文字列	00～31	バーコード番号（一度の発行 FB 呼び出しの中で重複しない番号）を指定して下さい。 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1、 P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm のバーコード No とも重複しない値を指定して下さい。
基点 X 座標	i_BasePointX	文字列	※	バーコードの基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	i_BasePointY	文字列	※	バーコードの基点 Y 座標を指定して下さい。
バーコード種類	i_BarKind	文字列	※	バーコードの種類を指定して下さい。
チェックデジット 付加指定	i_CheckDigit	文字列	※	チェックデジットの種類を指定して下さい。
細バー幅指定	i_NarrowBar	文字列	※	細バーの幅を指定して下さい。
細スペース幅指定	i_NarrowSpace	文字列	※	細スペースの幅を指定して下さい。
太バー幅指定	i_WideBar	文字列	※	太バーの幅を指定して下さい。
太スペース幅指定	i_WideSpace	文字列	※	太スペースの幅を指定して下さい。
キャラクタ間スペース 幅の指定	i_CharSpace	文字列	※	キャラクタ間に設定するスペースの幅を指定して下さい。
バーコード回転方向	i_Rotation	文字列	※	バーコードの回転方向と角度を指定して下さい。
バーコードの高さ	i_BarLength	文字列	※	バーコードの高さを指定して下さい。
インクリメント/ デクリメント指定	i_Inc_Dec	文字列	※	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
バー下数字指定	i_UnderChar	文字列	※	バー下数字の有無を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	i_ZeroSuppress	文字列	※	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
スタート/ストップ コード指定	i_StartStopCode	文字列	※	スタート/ストップコードの内容を指定して下さい。
バーコード文字列	i_BarString	文字列	※	印字するバーコードのデータ列を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(バーコードフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■ 出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。

名称	変数名	データ型	初期値	説明
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。
GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

3. 7 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart

機能内容

項目	内容					
機能概要	印字を開始します。					
シンボル	<div><div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart</div><div><div>実効命令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>コネクションNo.</div><div>W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値</div><div>W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div>発行枚数</div><div>S : i_IssueQty</div></div><div><div>カット間隔</div><div>S : i_CutInterval</div></div><div><div>センサー種別</div><div>S : i_SensorType</div></div><div><div>発行モード</div><div>S : i_IssueMode</div></div><div><div>発行スピード</div><div>S : i_IssueSpeed</div></div><div><div>リボンの有無</div><div>S : i_RibbonKind</div></div><div><div>タグローテーションの指定</div><div>S : i_TagRotation</div></div><div><div>ステータス応答の種類</div><div>S : i_IssueStatus</div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU				
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table> <div>※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU ※QCPU(A モード)使用不可</div>	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
	モデル	適用 CPU 形名				
	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル				
GX Works2	Version1.09K 以上					
使用言語	ラダー					
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合 : 581 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。					

項目	内容
	詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、バーコードプリンタにて、印字を開始します。
FB コンパイル方式	マクロ型
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 ・ 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザズマニュアル(基本編)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	発行枚数に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	カット間隔に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	センサー種別に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	発行モードに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	発行スピードに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
15	リボンの有無に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
16	タグローテーションの指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
17	ステータス応答の種類に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクションNo、IPアドレス、ポートNo等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。
発行枚数	i_IssueQty	文字列	0001～9999	発行枚数を指定して下さい。
カット間隔	i_CutInterval	文字列	000～999	用紙をカットする間隔を指定して下さい。
センサー種別	i_SensorType	文字列	※	センサーの種別を指定して下さい。
発行モード	i_IssueMode	文字列	※	発行モードを指定して下さい。
発行スピード	i_IssueSpeed	文字列	※	発行スピードを指定して下さい。
リボンの有無	i_RibbonKind	文字列	※	リボンの有無を指定して下さい。
タグローテーションの指定	i_TagRotation	文字列	※	タグローテーション(頭出し、尻出し等)を指定して下さい。
ステータス応答の種類	i_IssueStatus	文字列	※	ステータス応答の種類(有無)を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(発行コマンド)」を参照して下さい

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。

GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

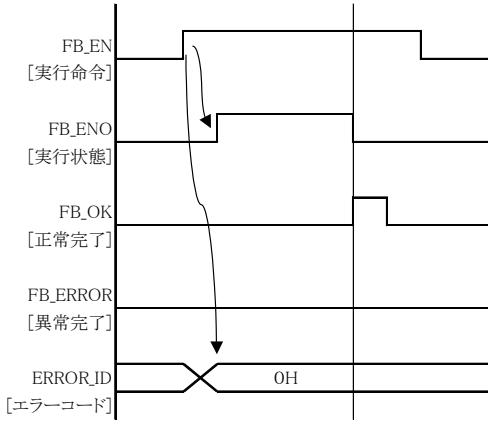
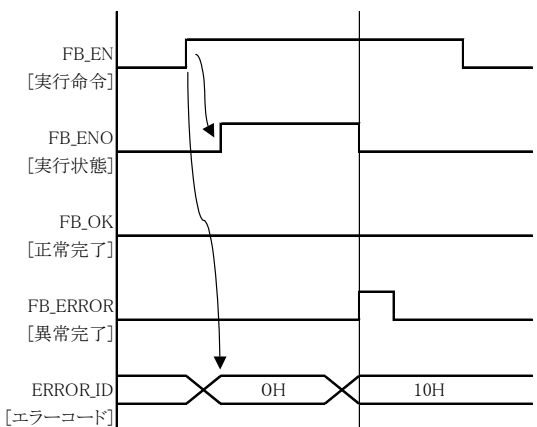
3. 8 P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart

機能内容

項目	内容					
機能概要	用紙をフィードします。					
シンボル	<div><div><div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart</div><div><div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B</div><div>正常完了</div></div><div><div>コネクションNo.</div><div>W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B</div><div>異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値</div><div>W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div><div><div>センサー種別</div><div>S : i_SensorType</div><div></div><div></div></div><div><div>カット有無指定</div><div>S : i_Cut</div><div></div><div></div></div><div><div>フィードモード</div><div>S : i_FeedMode</div><div></div><div></div></div><div><div>フィードスピード</div><div>S : i_FeedSpeed</div><div></div><div></div></div><div><div>リボンの有無</div><div>S : i_RibbonKind</div><div></div><div></div></div></div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU				
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table> <div>※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU ※QCPU(A モード)使用不可</div>	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
	モデル	適用 CPU 形名				
	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル				
GX Works2	Version1.09K 以上					
使用言語	ラダー					
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合 : 529 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。					
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、バーコードプリンタにて、用紙をフィードします。					
FB コンパイル方式	マクロ型					

項目	内容	
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)	
入出力信号の動き	【正常終了の場合】 	【異常終了の場合】 
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 ・ 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。 	
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザズマニュアル(基本編)	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	センサー種別に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	カット有無指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	フィードモードに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	フィードスピードに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	リボンの有無に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入力ラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。
センサー種別	i_SensorType	文字列	※	センサーの種別を指定して下さい。
カット有無指定	i_Cut	文字列	※	カットの有無を指定して下さい。
フィードモード	i_FeedMode	文字列	※	発行モードを指定して下さい。
フィードスピード	i_FeedSpeed	文字列	※	発行スピードを指定して下さい。
リボンの有無	i_RibbonKind	文字列	※	リボンの有無を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(フィードコマンド)」を参照して下さい

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。

GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

3. 9 P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter

機能内容

項目	内容					
機能概要	プリンタを電源投入時の状態に戻します。					
シンボル	<div><div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter</div><div><div>実効命令 — B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B — 実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス — W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B — 正常完了</div></div><div><div>コネクションNo. — W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B — 異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値 — W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W — エラーコード</div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU				
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table>	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
		モデル	適用 CPU 形名			
		MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル			
	※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU					
※QCPU(A モード)使用不可						
GX Works2	Version1.09K 以上					
使用言語	ラダー					
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合 : 448 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。					
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、バーコードプリンタを電源投入時の状態に戻します。					
FB コンパイル方式	マクロ型					
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)					

項目	内容	
入出力信号の動き	<div>【正常終了の場合】</div>	<div>【異常終了の場合】</div>
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。 	
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザーズマニュアル(基本編)	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	－	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。

GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

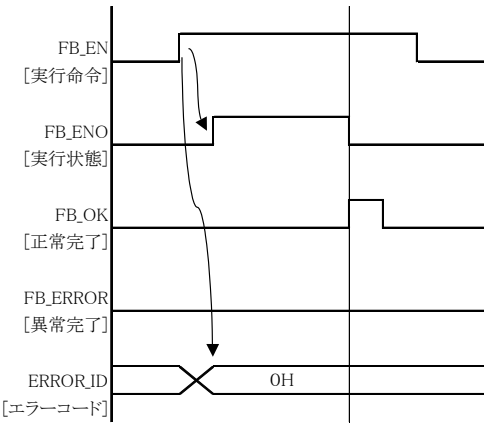
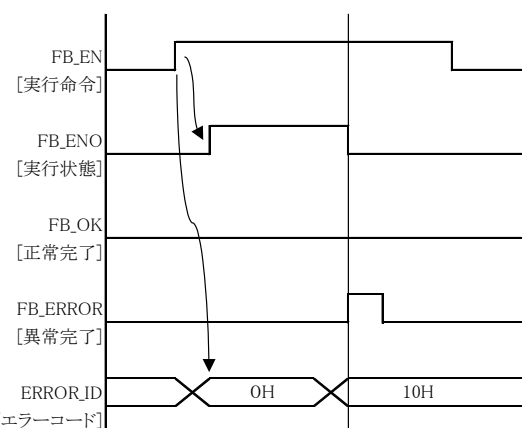
3. 10 P+TEC-B-SA4TM-E_ ReceiveStatus

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_ReceiveStatus

機能内容

項目	内容	
機能概要	プリンタよりステータスを受信します。	
シンボル	<div><div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div></div>	

項目	内容	
入出力信号の動き	<div>【正常終了の場合】</div> 	<div>【異常終了の場合】</div> 
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。 	
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザーズマニュアル(基本編)	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定を見直した上、再度実行して下さい。
31	送信処理に失敗しました。	MAIN プログラム等確認の上、再度実行して下さい。
32	受信処理に失敗しました。	MAIN プログラム等確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線等を確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	－	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。

※: 詳細な内容等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(ステータス要求コマンド)」を参照して下さい

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。
ステータス文字列	o_Status	文字列	なし	プリンタへステータスを要求した結果得られた応答が格納されます。※

※: 応答により得られたステータスの詳細は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(ステータス応答)」を参照して下さい

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。
GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2009/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

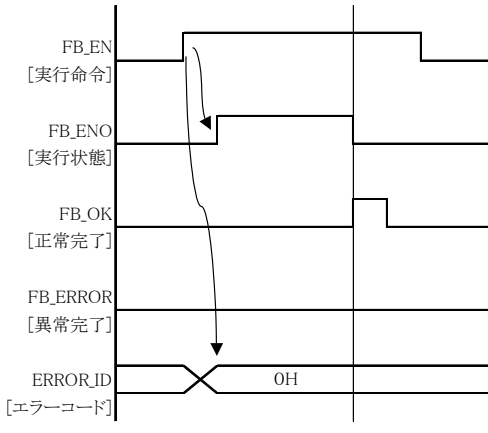
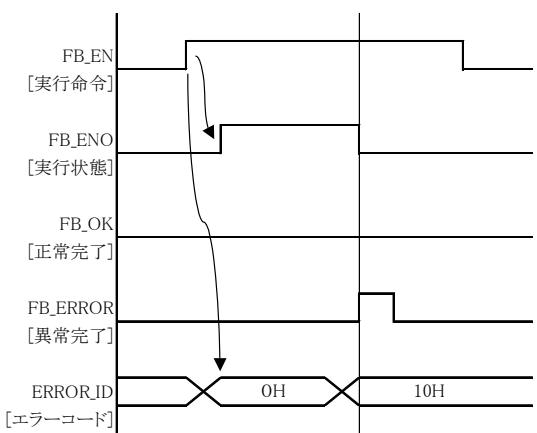
3. 11 P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm

機能内容

項目	内容					
機能概要	印字する QR コード(種類、サイズ等)を設定します。					
シンボル	<div><div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm</div><div><div>実効命令 — B : FB_ENFB_ENO : B — 実行状態</div><div>ユニット装着I/Oアドレス — W : i_Start_IO_NoFB_OK : B — 正常完了</div><div>コネクションNo. — W : i_Connection_NoFB_ERROR : B — 異常完了</div><div>タイムアウト値 — W : i_TimeOutERROR_ID : W — エラーコード</div><div>QRコードNo — S : i_BarNo</div><div>基点X座標 — S : i_BasePointX</div><div>基点Y座標 — S : i_BasePointY</div><div>誤り訂正レベル — S : i_Correction</div><div>1セル幅 — S : i_CellWidth</div><div>モード指定 — S : i_Mode</div><div>バーコード回転方向 — S : i_Rotation</div><div>モデル指定 — S : i_Model</div><div>マスク番号指定 — S : i_MaskNo</div><div>連結指定 — S : i_Joint</div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU				
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table>	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
		モデル	適用 CPU 形名			
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル					
※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU ※QCPU(A モード)使用不可						

項目	内容	
	GX Works2	Version1.09K 以上
使用言語	ラダー	
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合 : 695 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。	
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入カラベルに設定されている各値を、印字バーコードの情報としてバーコードプリンタへセットします。	
FB コンパイル方式	マクロ型	
FB 動作	パルス型 (1 スキャン実行型)	
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div>  </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div>  </div>	
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。 	
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザズマニュアル(基本編)	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	QR コード No に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
11	基点 X 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
12	基点 Y 座標に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
13	誤り訂正レベルに問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
14	1セル幅に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
15	モードの指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
16	バーコード回転方向に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
17	モデル指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
18	マスク番号指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
19	連結指定に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)

エラーコード	内容	処置方法
		を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。
QR コード No	i_QRNo	文字列	00～31	QRコード番号(一度の発行FB呼び出しの中で、重複しない番号)を指定して下さい。 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1、 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2、のバーコード No.とも重複しない値を指定して下さい。
基点 X 座標	i_BasePointX	文字列	※	QRコードの基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	i_BasePointY	文字列	※	QRコードの基点 Y 座標を指定して下さい。
誤り訂正レベル	i_Correction	文字列	※	QR コードの誤り訂正レベルを指定して下さい。
1セル幅	i_CellWidth	文字列	※	QRコードの 1 セル幅を指定して下さい。
モードの指定	i_Mode	文字列	※	QR コードのモードを指定して下さい。
バーコード回転方向	i_Rotation	文字列	※	QR コードの回転方向と角度を指定して下さい。
モデル指定	i_Model	文字列	※	QR コードのモデルを指定して下さい。
マスク番号指定	i_MaskNo	文字列	※	QR コードのマスク番号を指定

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
				して下さい。
連結指定	i_Joint	文字列	※	QRコードの連結設定の値を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(バーコードフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■ 出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。
GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2010/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

3. 12 P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData

機能内容

項目	内容	
機能概要	印字する QR コード(印字文字列)を設定します。	
シンボル	<div><div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div></div>	

項目	内容
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 ・ 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザズマニュアル(基本編)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
10	QRコード文字列に問題があります。	入カラベルを見直した上、再度実行して下さい。
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	－	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネク

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
				シオン No.を指定します。
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。
QR コード文字列	i_QRString	文字列	254	印字する QR コードの内容を指定して下さい。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(バーコードフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■ 出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。
GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2010/02/14	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

3. 13 P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR

名称

P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData

機能内容

項目	内容					
機能概要	QR コード情報の終端命令を送信します。					
シンボル	<div><div><div>P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR</div><div><div>実効命令 — B : FB_EN</div><div>FB_ENO : B — 実行状態</div></div><div><div>ユニット装着I/Oアドレス — W : i_Start_IO_No</div><div>FB_OK : B — 正常完了</div></div><div><div>コネクションNo. — W : i_Connection_No</div><div>FB_ERROR : B — 異常完了</div></div><div><div>タイムアウト値 — W : i_TimeOut</div><div>ERROR_ID : W — エラーコード</div></div></div></div>					
対象機器	対象ユニット	QJ71E71-100 Ethernet 内蔵 CPU				
	対象 CPU	<table><tr><td>モデル</td><td>適用 CPU 形名</td></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ</td><td>ユニバーサルモデル</td></tr></table> ※シリアル No. の上 5 桁が“11012”以降の CPU ※QCPU(A モード)使用不可	モデル	適用 CPU 形名	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル
	モデル	適用 CPU 形名				
	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル				
GX Works2	Version1.09K 以上					
使用言語	ラダー					
ステップ数(最大値)	ユニバーサルモデルの場合 : 446 ※ ステップ数は、ラベルプログラム上でのステップ数のため、参考値として記載しております。 詳細につきましては、GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト編)を参照して下さい。					
機能説明	FB_EN(実行指令)の ON で、入力ラベルに設定されている各値を、印字バーコードの情報としてバーコードプリンタへセットします。					
FB コンパイル方式	マクロ型					
FB 動作	パルス型(1 スキャン実行型)					
入出力信号の動き	【正常終了の場合】	【異常終了の場合】				

項目	内容
制約事項 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成して下さい。 本FBではインデックスレジスタZ8～Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないで下さい。
関連マニュアル	Q 対応 Ethernet インタフェースユニットユーザズマニュアル(基本編)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
30	コネクションオープンに失敗しました。	接続先設定(コネクション No、IP アドレス、ポート No 等)を見直した上、再度実行して下さい。
31	通信異常が発生し、送信に失敗しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。
32	タイムアウトエラーが発生しました。	バーコードプリンタの電源断、通信ケーブルの断線など確認の上、再度実行して下さい。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	－	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照して下さい。	対象の Ethernet ユニットが設定されている先頭 I/O アドレスを 16 進数で指定します。
コネクション No.	i_Connection_No	ワード	1～15	コネクションを確立するコネクション No.を指定します。

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
タイムアウト値	i_TimeOut	ワード	1～32767(10 進数)	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で指定して下さい。 入力が無い場合や負値、0 が入力された時は 60 (秒)が自動的に入力されます。

※: 詳細な有効範囲、値の指定方法等は「B-SA4T シリーズ 外部機器インターフェースマニュアル(バーコードフォーマットコマンド)」を参照して下さい

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	発生した異常コードを返す。

接続先設定

バーコードプリンタを動作するにあたり、CPU 又は QJ71E71-100 の接続先設定を行う必要があります。
GX Works2 のネットワークパラメータ(Ethernet)の接続先設定を行って下さい。設定方法については、GX Works2 オペレーティングマニュアル共通編をお読みいただきますようお願い申し上げます。

FB バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2010/02/14	新規作成

お願い

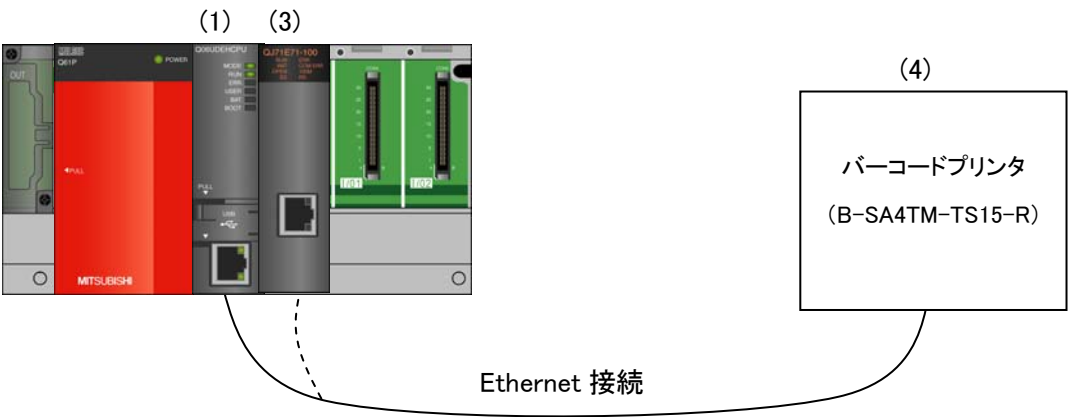
本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

4. 使用例

4. 1 P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字フォーマットを設定する場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字フォーマットとしてセットします。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_SetForm	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

(3)使用例 設定

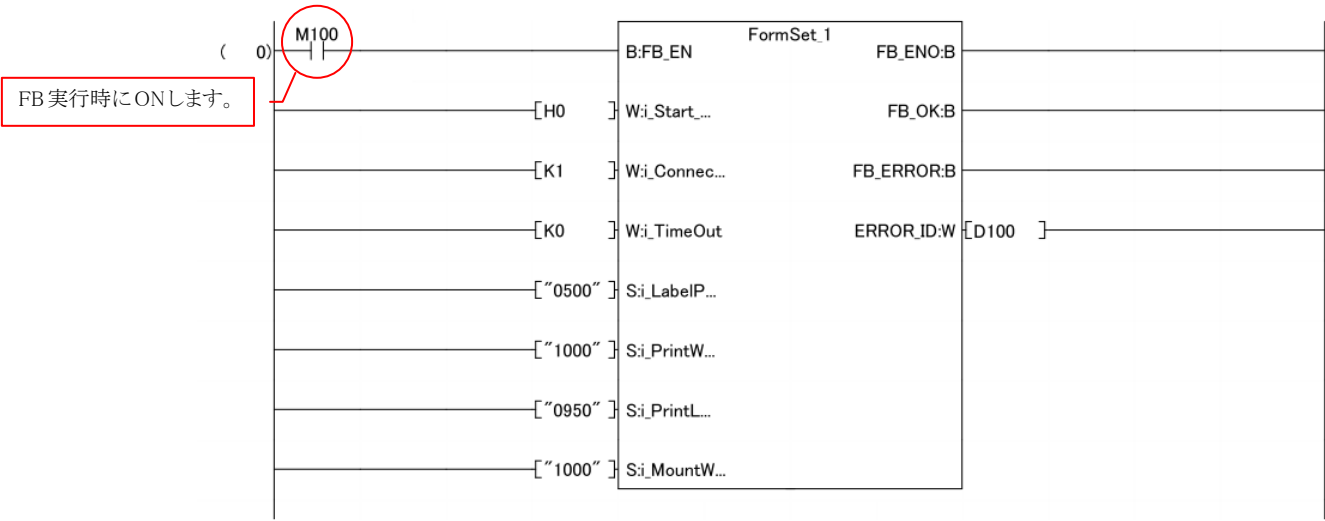
■共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時

入出力項目	値	説明
		間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
ラベル・タグピッチ	“0500”	ラベル、タグのピッチを 0.1mm 単位で入力して下さい。
有効印字幅	“1000”	印字可能な幅を 0.1mm 単位で入力して下さい。
有効印字長	“0950”	有効可能な長さを 0.1mm 単位で入力して下さい。
台紙幅	“1000”	台紙の幅を 0.1mm 単位で入力して下さい。

(4)プログラム

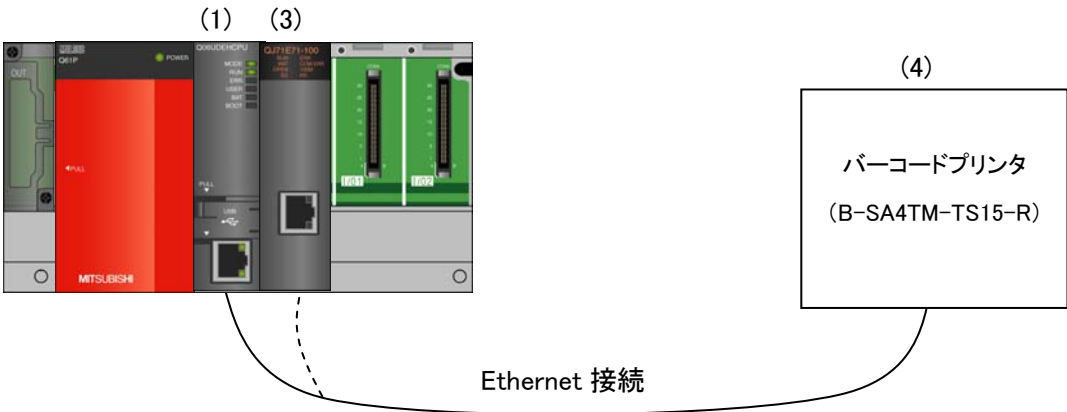
バーコードプリンタへ印字フォーマットをセットし、プリンタ内部のバッファをクリアします



4. 2 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字文字列情報をセットする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字文字列情報としてセットします。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintChar	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

(3)使用例 設定

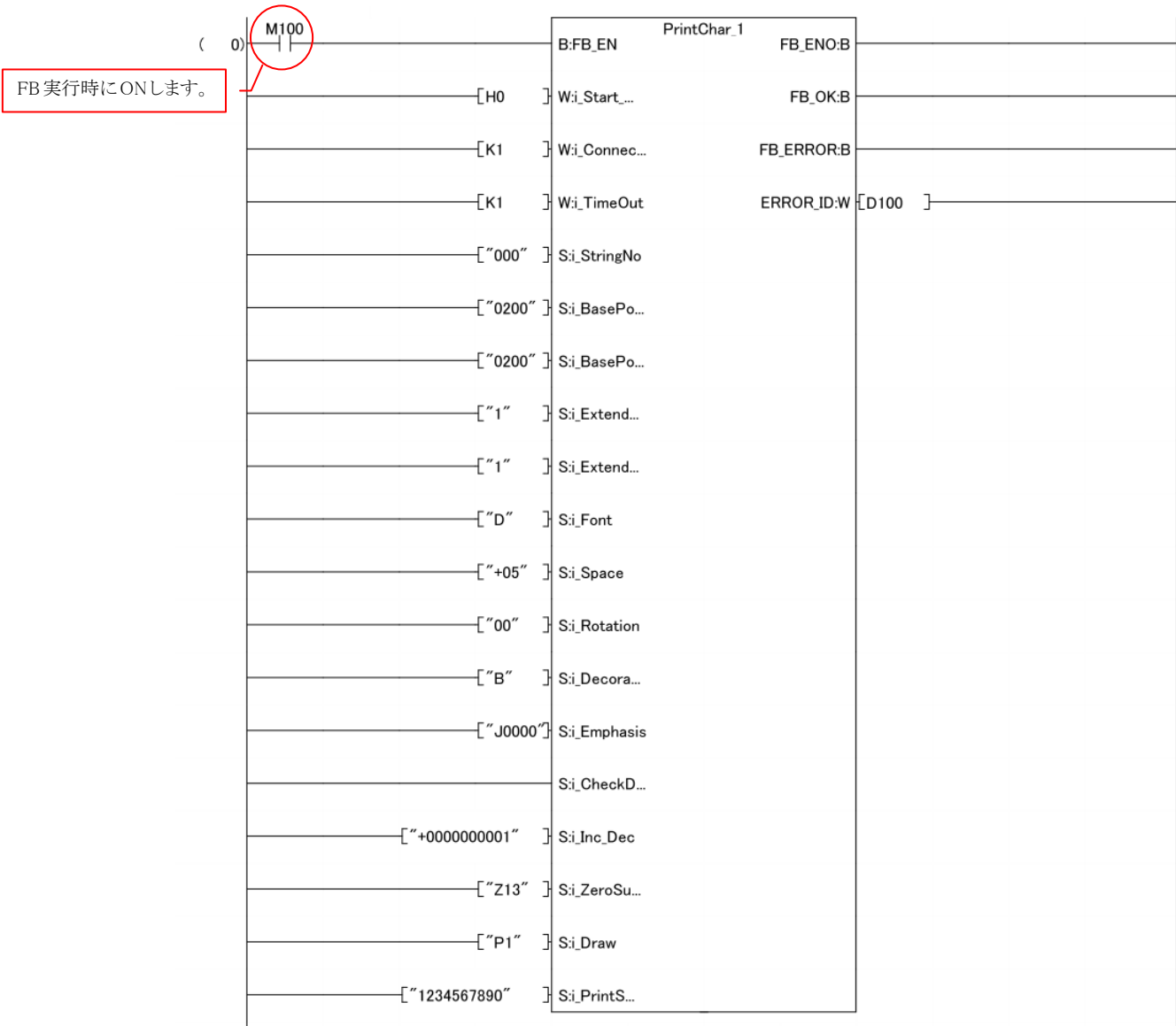
■共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
文字列 No	“000”	文字列番号(一度の発行 FB 呼び出しの中で重複しない番号)を指定して下さい。

入出力項目	値	説明
		P+TEC-B-SA4TM-E PrintOutLine の文字列 No と重複しても問題はありません。
基点 X 座標	“0200”	文字列の基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	“0200”	文字列の基点 Y 座標を指定して下さい。
文字の横倍率	“1”	文字の横倍率を指定して下さい。
文字の縦倍率	“1”	文字の縦倍率を指定して下さい。
フォント種類	“D”	フォントの種類を指定して下さい。
文字間スペース微調整	“+05”	文字間に設定するスペースの幅を指定して下さい。
文字、文字列回転調整	“00”	文字、及び文字列の回転方向と角度を指定して下さい。
文字飾り指定	“B”	文字飾りの種類を指定して下さい。
強調文字指定	“J0000”	文字強調の内容を指定して下さい。
チェックデジット 付加指定	省略	チェックデジットの種類を指定して下さい。
インクリメント/ デクリメント指定	“+0000000001”	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	“Z13”	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
文字寄せ	“P1”	文字寄せの種類、位置を指定して下さい。
印字文字列	“1234567890”	印字するデータ列を指定して下さい。

(4)プログラム

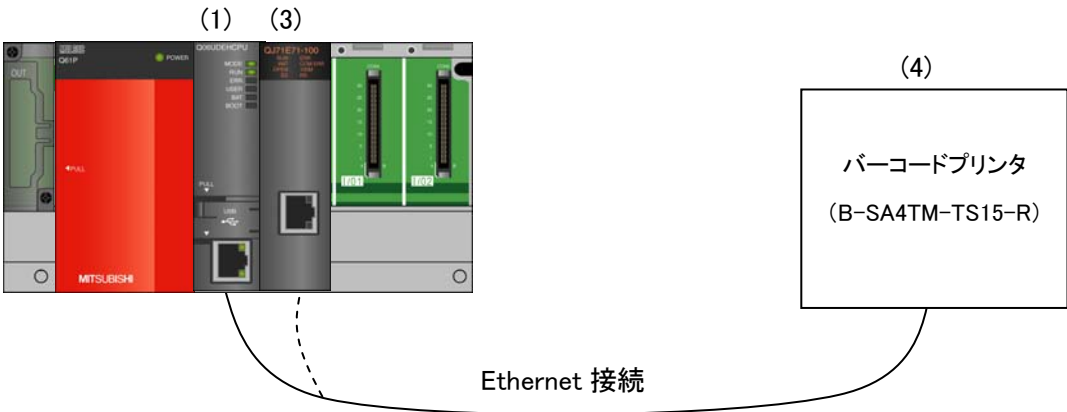
バーコードプリンタへ印字文字列の情報をセットします。



4. 3 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字文字列情報をセットする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字文字列情報としてセットします。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintOutLine	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

(3)使用例 設定

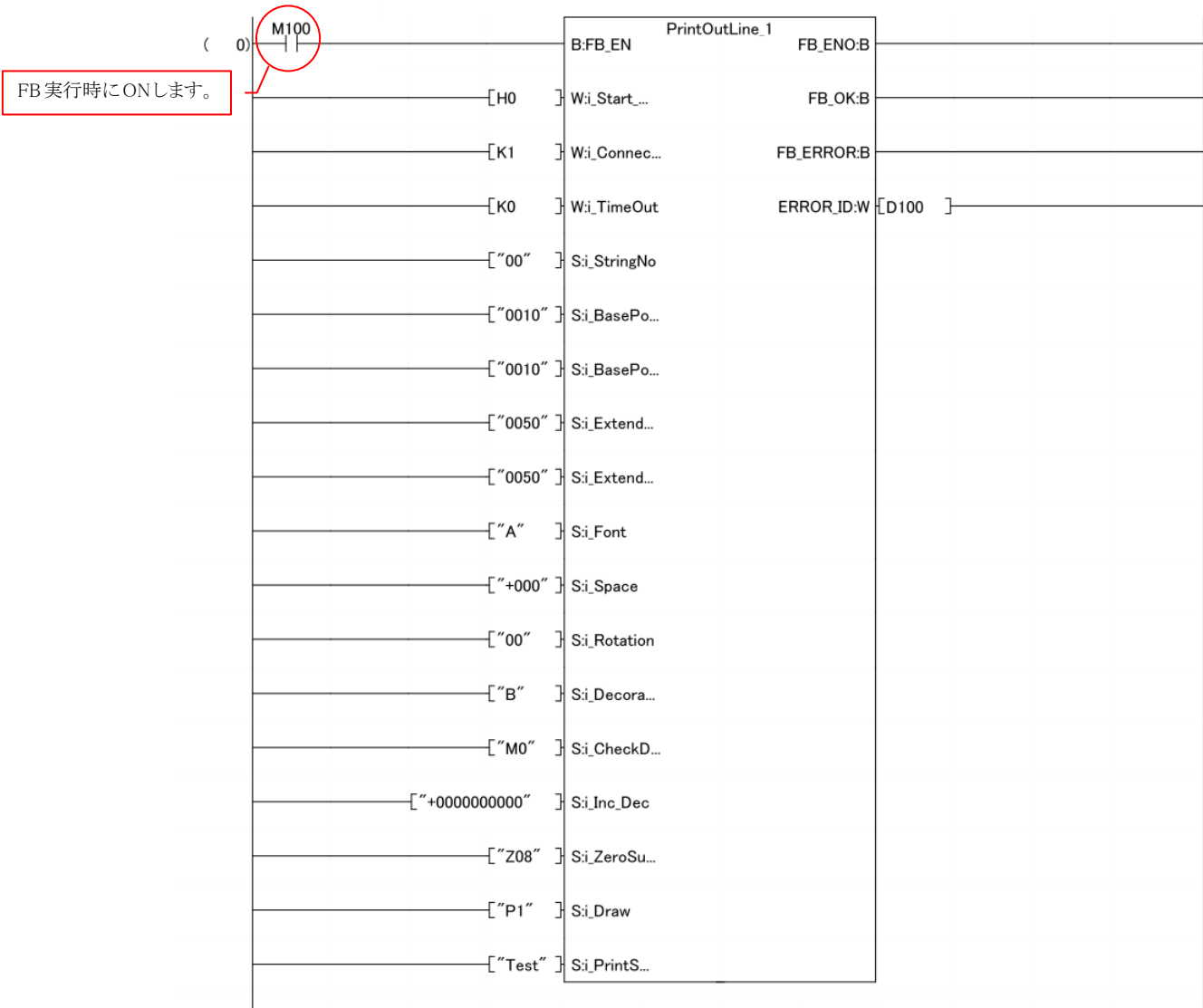
■共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
文字列 No	“00”	文字列番号(一度の発行 FB 呼び出しの中で重複しない番号)を指定して下さい。

入出力項目	値	説明
		P+TEC-B-SA4TM-E.PrintChar の文字列 No と重複しても問題はありません。
基点 X 座標	“0010”	文字列の基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	“0010”	文字列の基点 Y 座標を指定して下さい。
文字幅	“0050”	文字の横倍率を指定して下さい。
文字高	“0050”	文字の縦倍率を指定して下さい。
フォント種類	“A”	フォントの種類を指定して下さい。
文字間スペース微調整	“+000”	文字間に設定するスペースの幅を指定して下さい。
文字、文字列回転調整	“00”	文字、及び文字列の回転方向と角度を指定して下さい。
文字飾り指定	“B”	文字飾りの種類を指定して下さい。
チェックデジット 付加指定	“M0”	チェックデジットの種類を指定して下さい。
インクリメント/ デクリメント指定	“+00000000000”	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	“Z08”	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
文字寄せ	“P1”	文字寄せの種類、位置を指定して下さい。
印字文字列	“Test”	印字するデータ列を指定して下さい。

(4)プログラム

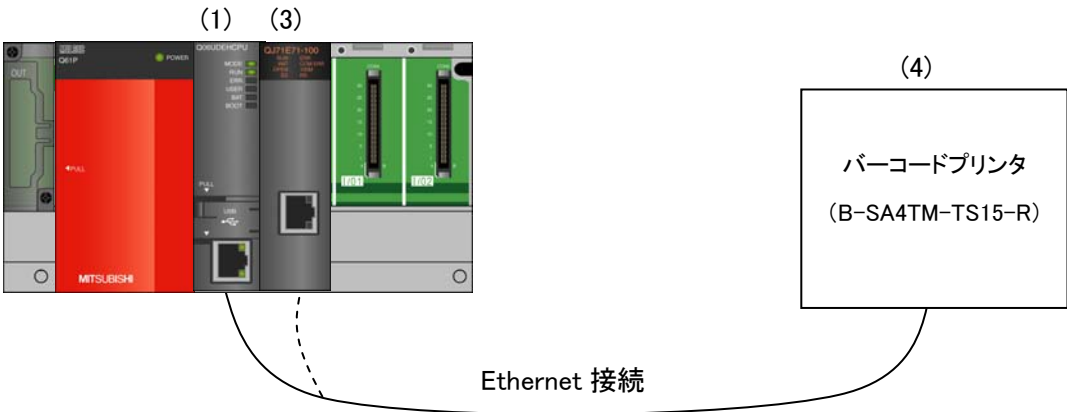
バーコードプリンタへ印字文字列の情報をセットします。



4. 4 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字ライン情報をセットする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字ライン情報としてセットします。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintLine	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

(3)使用例 設定

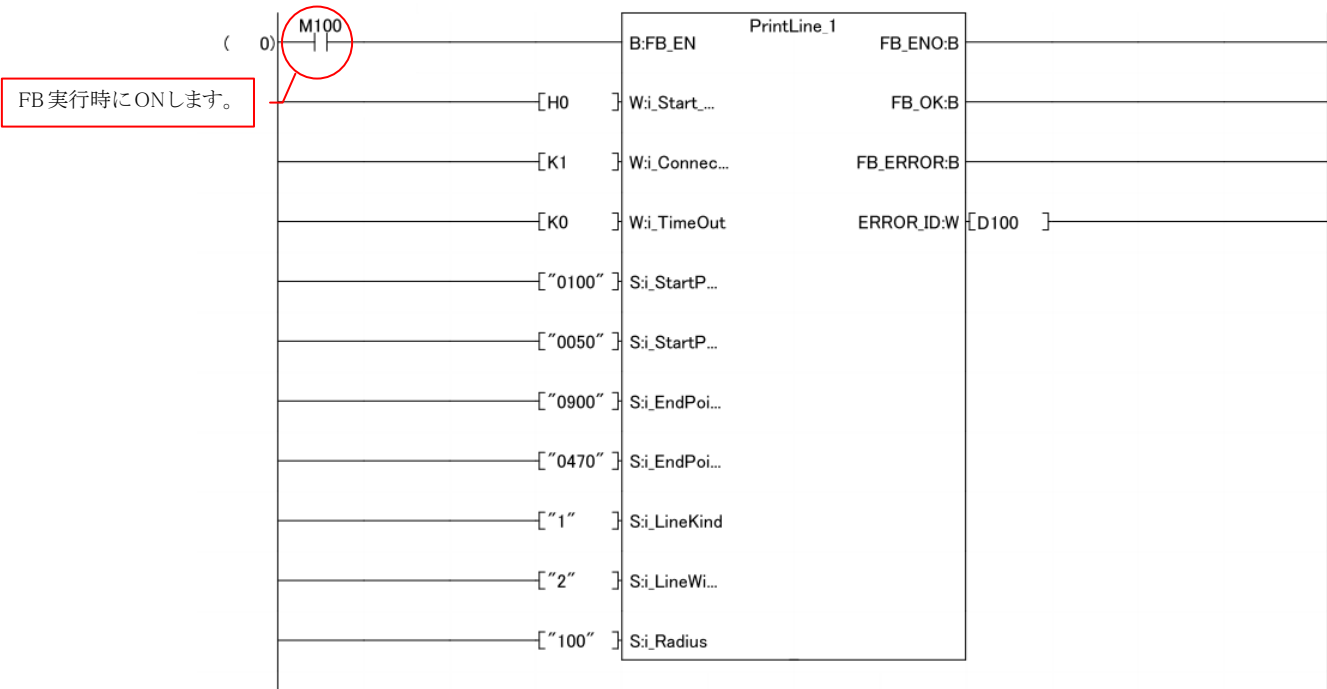
■共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。

入出力項目	値	説明
始点 X 座標	“0100”	ラインの始点 X 座標を指定して下さい。
始点 Y 座標	“0050”	ラインの始点 Y 座標を指定して下さい。
終点 X 座標	“0900”	ラインの終点 X 座標を指定して下さい。
終点 Y 座標	“0470”	ラインの終点 Y 座標を指定して下さい。
ライン種類	“1”	ラインの種類を指定して下さい。
ライン幅	“2”	ラインの幅を指定して下さい。
角丸め半径	“100”	角を丸める際の半径を指定して下さい。

(4)プログラム

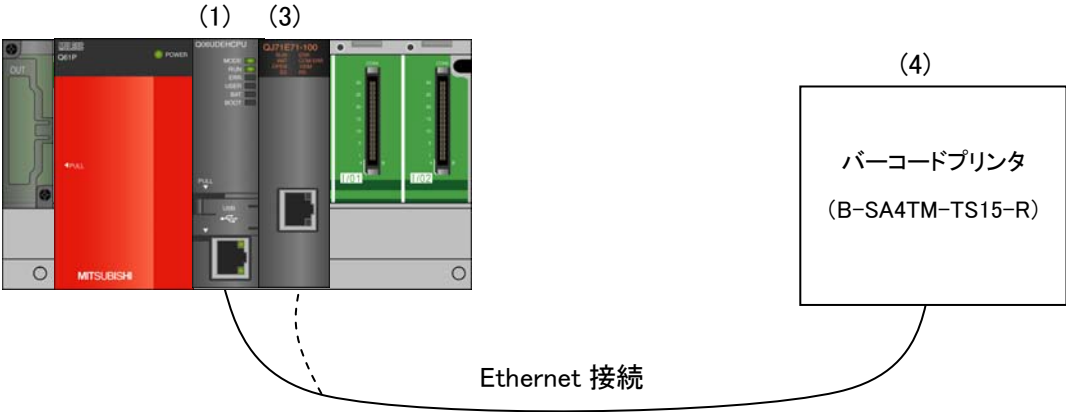
バーコードプリンタへ印字ラインの情報をセットします。



4. 5 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字バーコード情報をセットする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字バーコード情報としてセットします。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

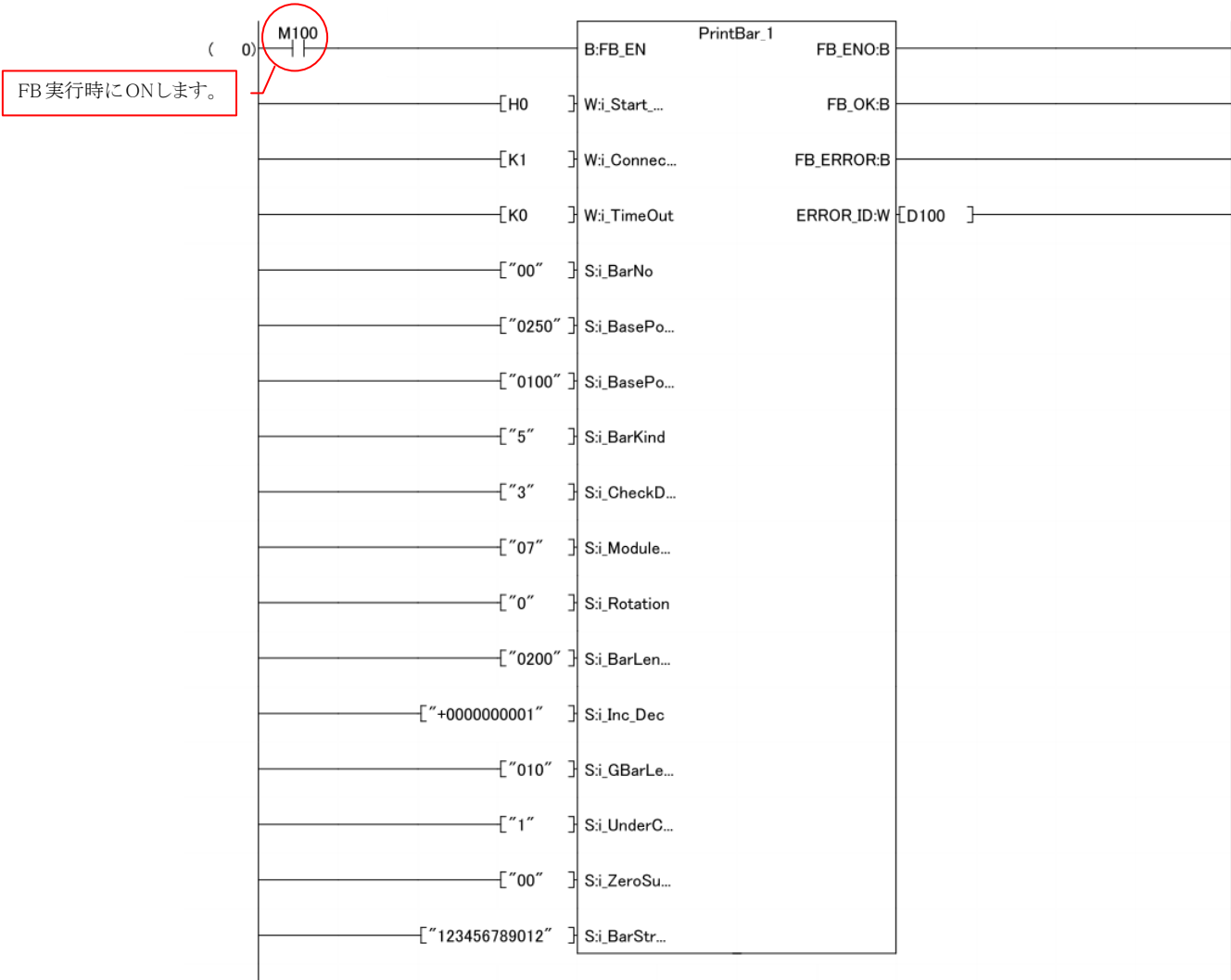
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
バーコード No	“00”	バーコード番号(一度の発行 FB 呼び出しの中で、重複しない番号)を指定して下さい。 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2、 P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm のバーコード No とも重複しない値を指定して下さい。
基点 X 座標	“0250”	バーコードの基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	“0100”	バーコードの基点 Y 座標を指定して下さい。
バーコード種類	“5”	バーコードの種類を指定して下さい。
チェックデジット 付加指定	“3”	チェックデジットの種類を指定して下さい。
モジュール幅指定	“07”	1 モジュールの幅を指定して下さい。
バーコード回転方向	“0”	バーコードの回転方向と角度を指定して下さい。
バーコードの高さ	“0200”	バーコードの高さを指定して下さい。
インクリメント/ デクリメント指定	“+0000000001”	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
ガードバーの高さ	“010”	ガードバーの高さを指定して下さい。
バー下数字指定	“1”	バー下数字の有無を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	“00”	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
バーコード文字列	“123456789012”	印字するバーコードのデータ列を指定して下さい。

(4)プログラム

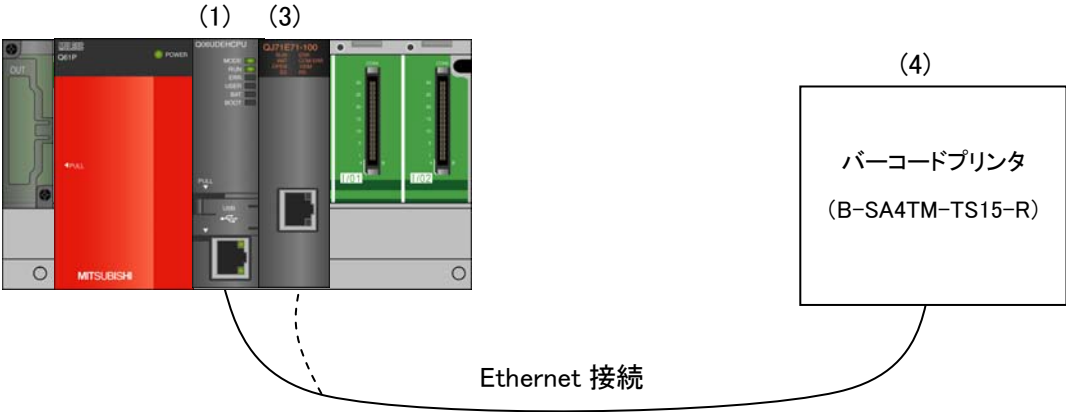
バーコードプリンタへ印字バーコードの情報をセットします。



4. 6 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字バーコード情報をセットする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字バーコード情報としてセットします。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

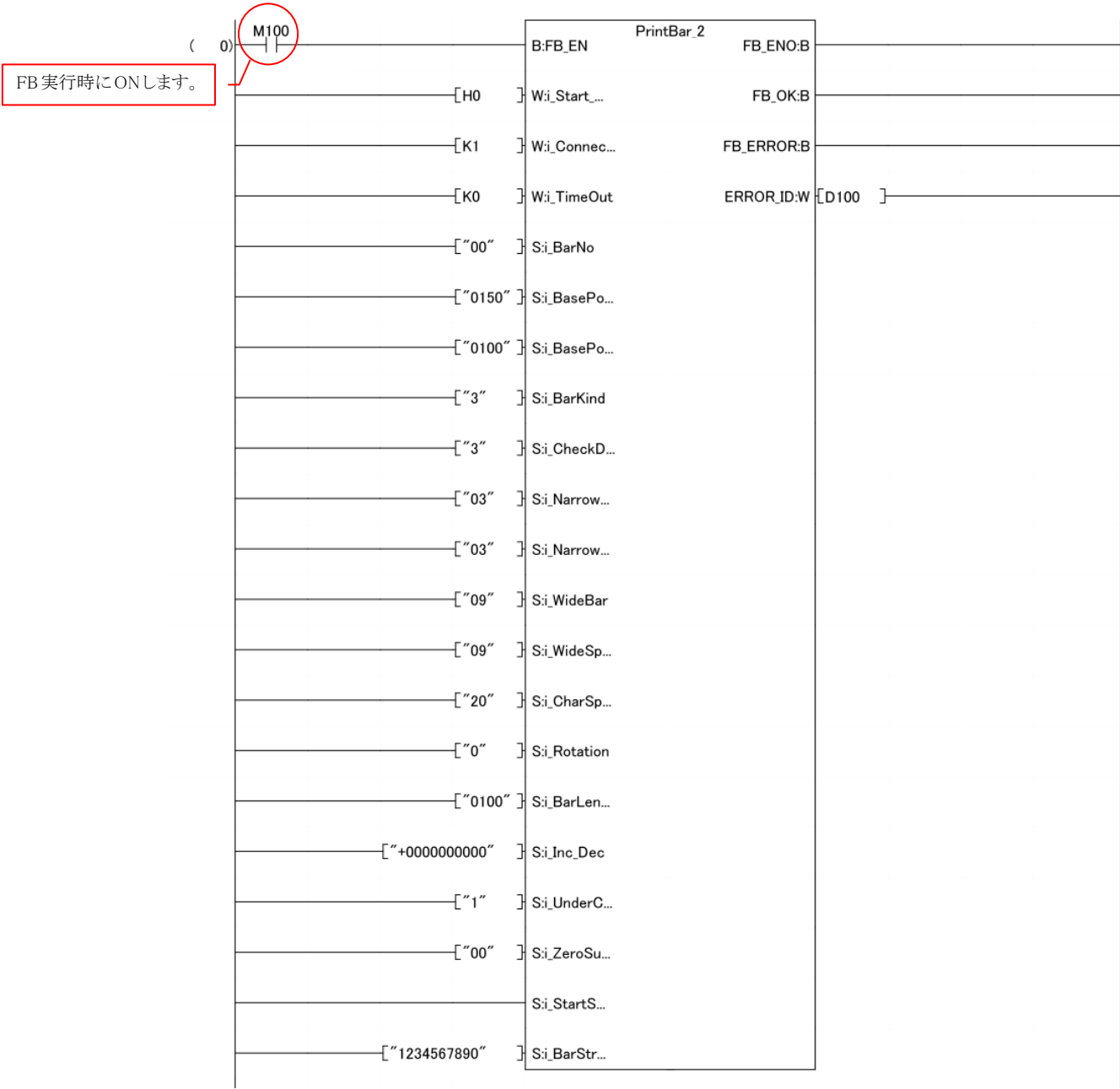
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
バーコード No	“00”	バーコード番号(一度の発行 FB 呼び出しの中で重複しない番号)を指定して下さい。 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1、 P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm のバーコード No とも重複しない値を指定して下さい。
基点 X 座標	“0150”	バーコードの基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	“0100”	バーコードの基点 Y 座標を指定して下さい。
バーコード種類	“3”	バーコードの種類を指定して下さい。
チェックデジット 付加指定	“3”	チェックデジットの種類を指定して下さい。
細バー幅指定	“03”	細バーの幅を指定して下さい。
細スペース幅指定	“03”	細スペースの幅を指定して下さい。
太バー幅指定	“09”	太バーの幅を指定して下さい。
太スペース幅指定	“09”	太いスペースの幅を指定して下さい。
キャラクタ間スペース 幅の指定	“20”	キャラクタ間に設定するスペースの幅を指定して下さい。
バーコード回転方向	“0”	バーコードの回転方向と角度を指定して下さい。
バーコードの高さ	“0100”	バーコードの高さを指定して下さい。
インクリメント/ デクリメント指定	“+0000000000”	インクリメント/デクリメントの実行有無、スキップ値を指定して下さい。
バー下数字指定	“1”	バー下数字の有無を指定して下さい。
ゼロサプレス指定	“00”	ゼロサプレスの内容を指定して下さい。
スタート/ストップ コード指定	省略	スタート/ストップコードの内容を指定して下さい。
バーコード文字列	“1234567890”	印字するバーコードのデータ列を指定して下さい。

(4)プログラム

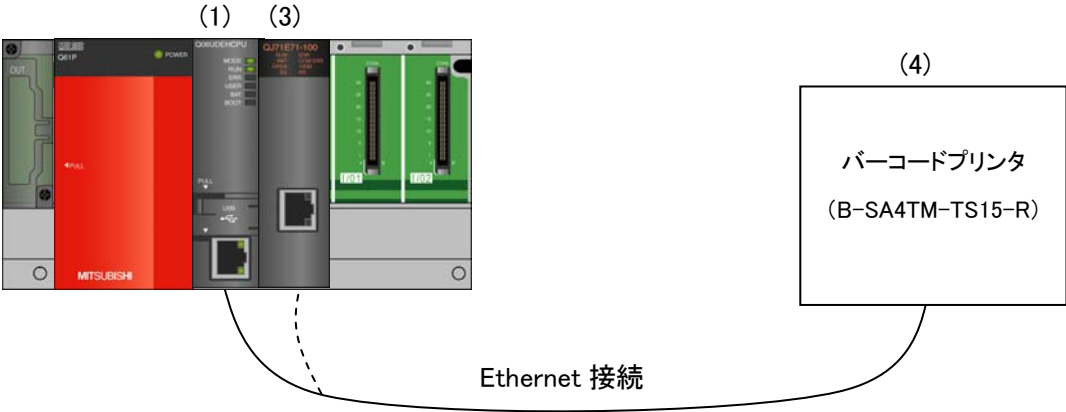
バーコードプリンタへ印字バーコードの情報をセットします。



4. 7 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタで印字を開始する場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart	バーコードプリンタと接続を行い、印字を開始します

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_PrintStart	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

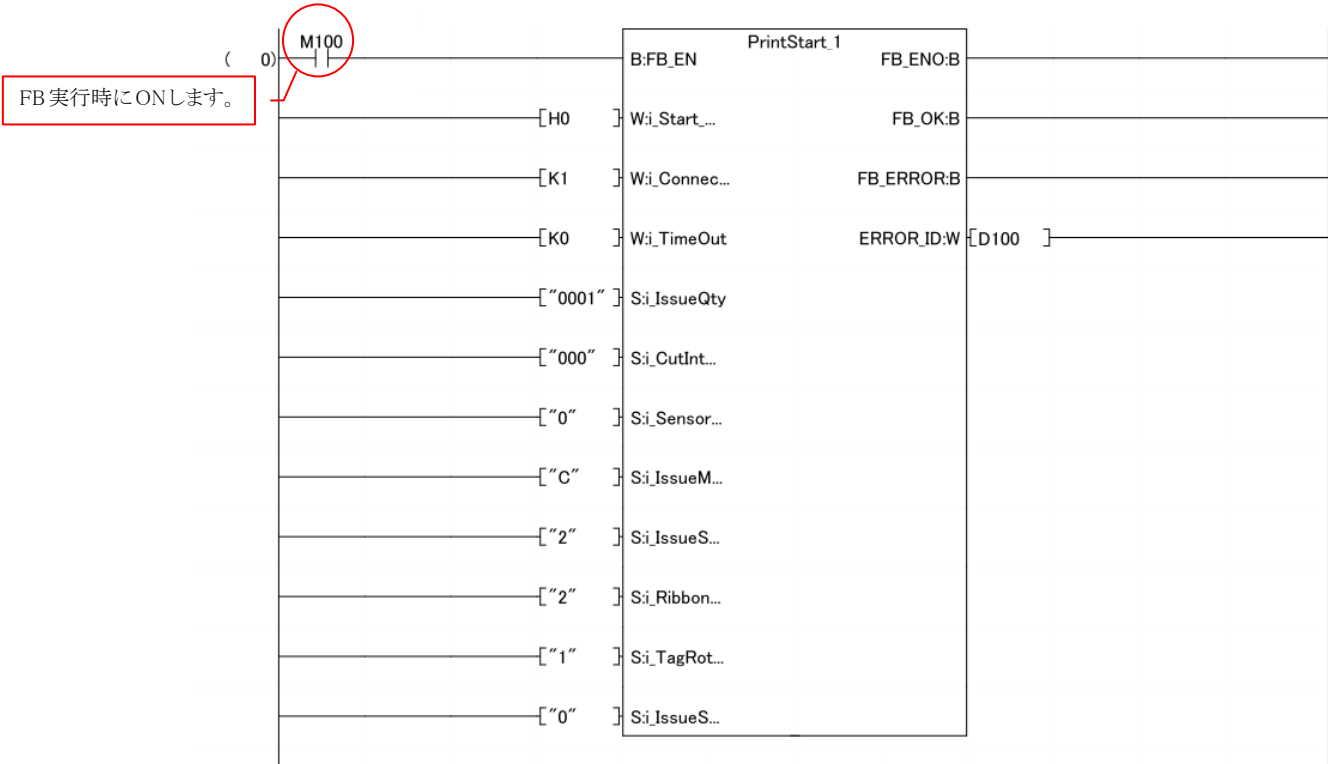
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
発行枚数	“0001”	発行枚数を指定して下さい。
カット間隔	“000”	用紙をカットする間隔を指定して下さい。
センサー種別	“0”	センサーの種別を指定して下さい。
発行モード	“C”	発行モードを指定して下さい。
発行スピード	“2”	発行スピードを指定して下さい。
リボンの有無	“2”	リボンの有無を指定して下さい。
タグローテーションの指定	“1”	タグローテーション(頭出し、尻出し等)を指定して下さい。
ステータス応答の種類	“0”	ステータス応答の種類(有無)を指定して下さい。

(4)プログラム

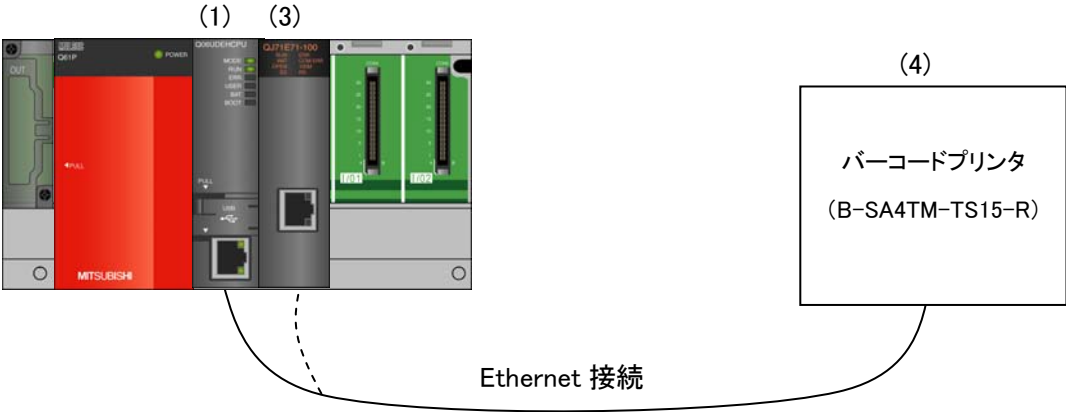
バーコードプリンタにて、印字を開始します。



4. 8 P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタで用紙をフィードする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart	バーコードプリンタと接続を行い、用紙をフィードします

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_FeedStart	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

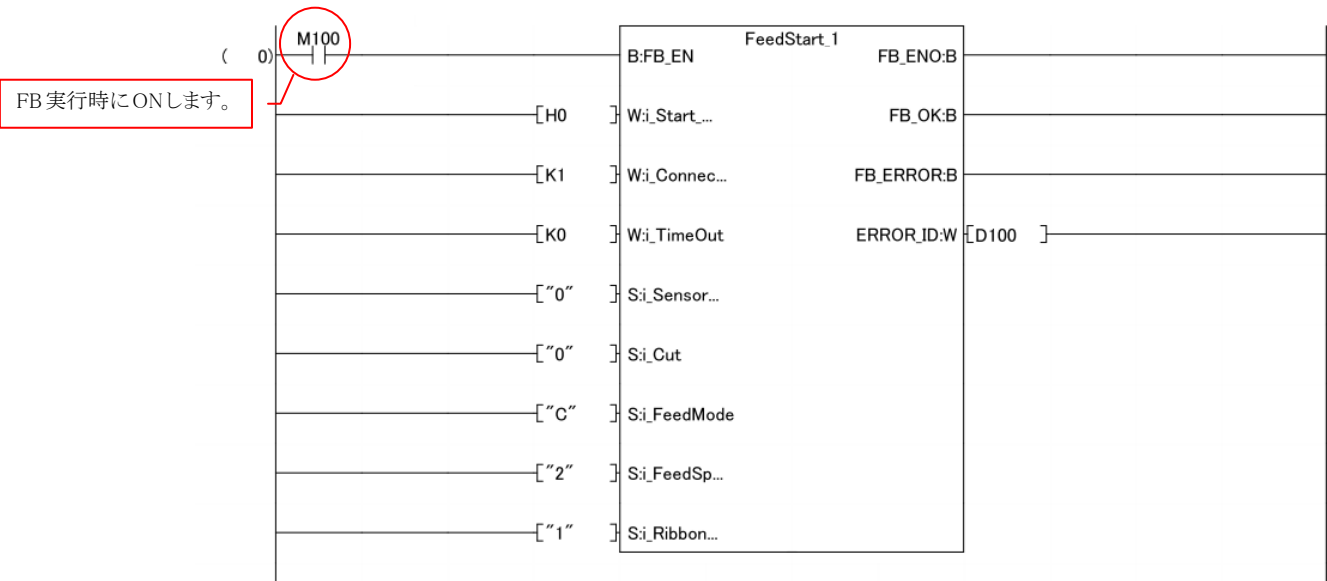
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
センサー種別	“0”	センサーの種別を指定して下さい。
カット有無指定	“0”	カットの有無を指定して下さい。
フィードモード	“C”	発行モードを指定して下さい。
フィードスピード	“2”	発行スピードを指定して下さい。
リボンの有無	“1”	リボンの有無を指定して下さい。

(4)プログラム

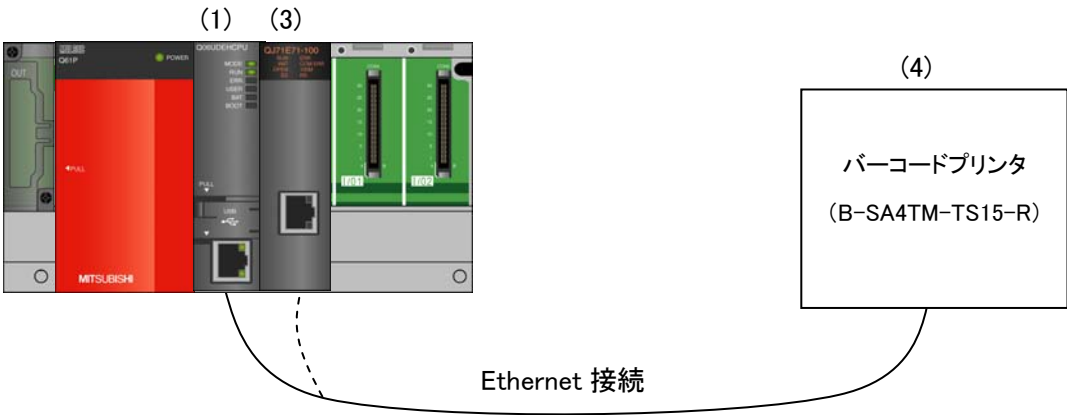
バーコードプリンタにて、用紙をフィードします。



4. 9 P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタを電源投入時の状態に戻す場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■ 外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter	バーコードプリンタを電源投入時の状態に戻します。

■ 外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_ResetPrinter	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

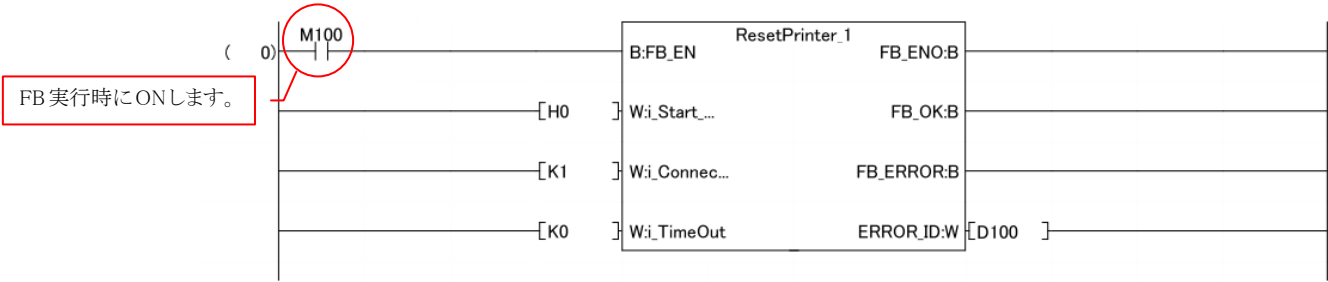
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。

(4)プログラム

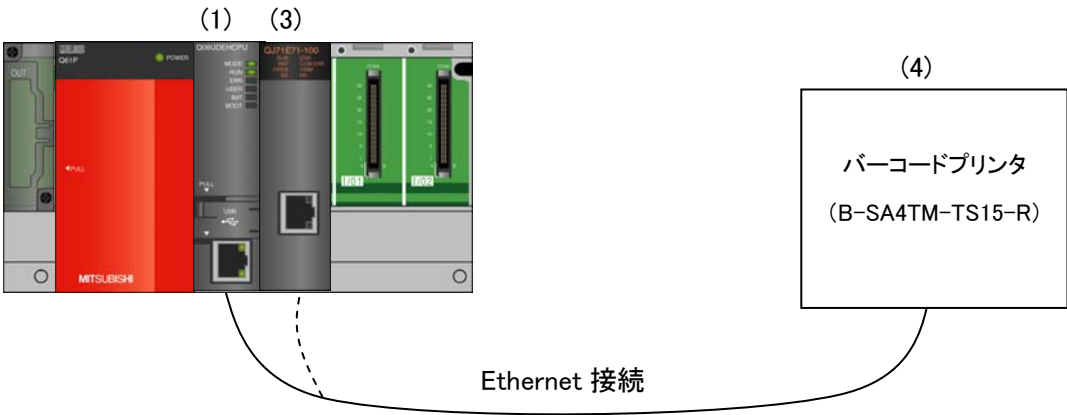
バーコードプリンタを電源投入時の状態に戻します。



4. 10 P+TEC-B-SA4TM-E_ ReceiveStatus

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタよりステータスを受信する場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■ 外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_ReceiveStatus	バーコードプリンタよりステータスを受信します。

■ 外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_ReceiveStatus	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

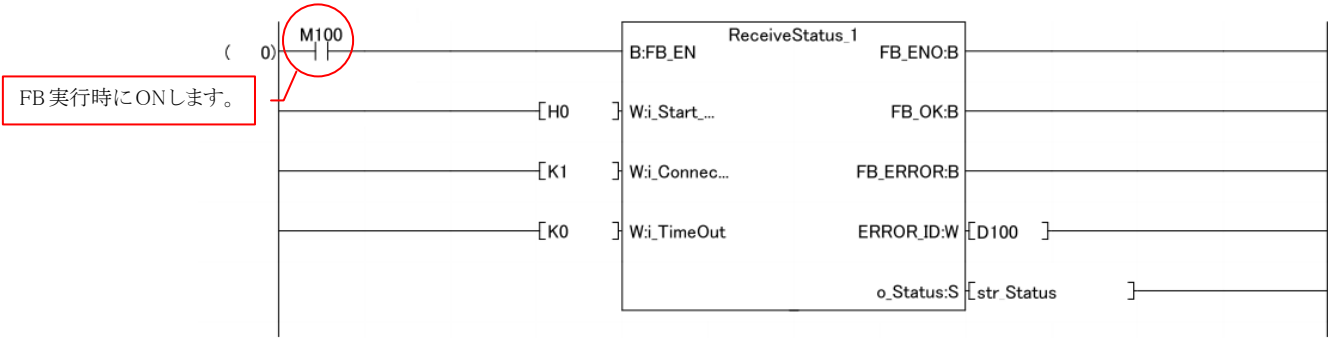
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
ステータス文字列	プリンタの状態により変化します。	プリンタへステータスを要求した結果得られた応答が格納されます。

(4)プログラム

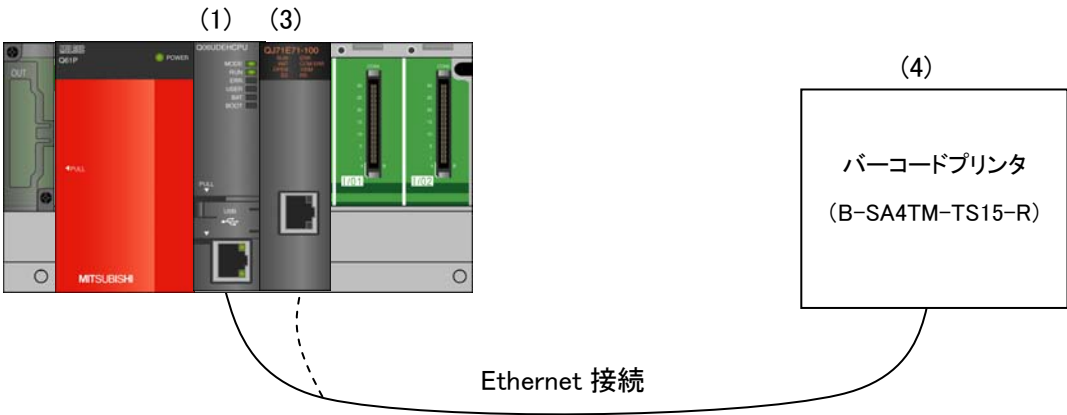
バーコードプリンタよりステータスを受信します。



4. 11 P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字 QR コード情報をセットする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■ 外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M100	P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字 QR コード情報としてセットします。

■ 外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_SetQRForm	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

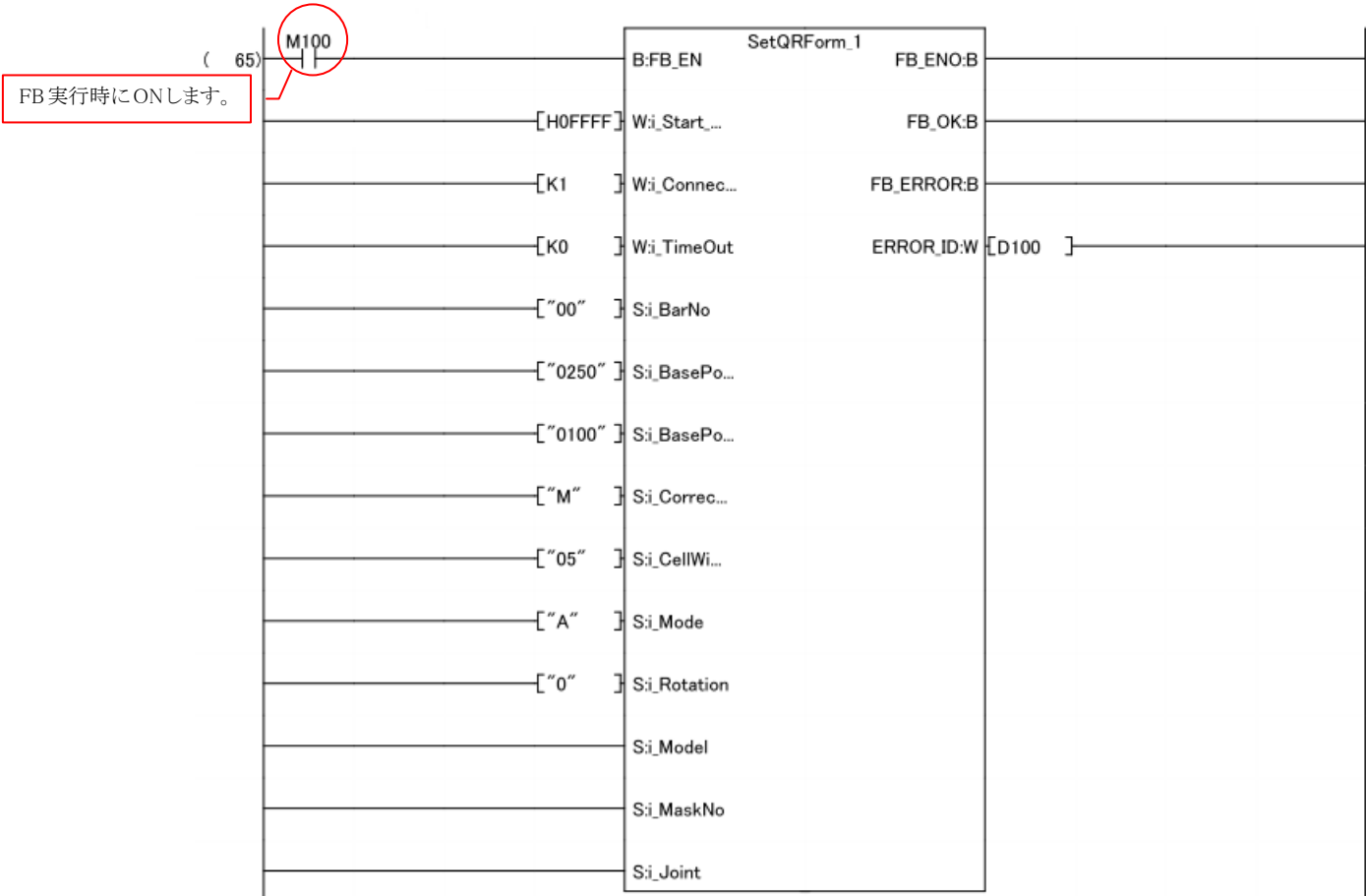
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0FFFF	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
バーコード No	“00”	QR コード番号(一度の発行 FB 呼び出しの中で、重複しない番号)を指定して下さい。 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_1、 P+TEC-B-SA4TM-E_PrintBar_2、のバーコード No とも重複しない値を指定して下さい。
基点 X 座標	“0250”	QR コードの基点 X 座標を指定して下さい。
基点 Y 座標	“0100”	QR コードの基点 Y 座標を指定して下さい。
誤り訂正レベル	“M”	QR コードの誤り訂正レベルを指定して下さい。
1セル幅	“05”	QR コードの 1 セル幅を指定して下さい。
モードの指定	“A”	QR コードのモードを指定して下さい。
バーコード回転方向	“0”	QR コードの回転方向と角度を指定して下さい。
モデル指定	省略	QR コードのモデルを指定して下さい。
マスク番号指定	省略	QR コードのマスク番号を指定して下さい。
連結指定	省略	QR コードの連結設定の値を指定して下さい。

(4)プログラム

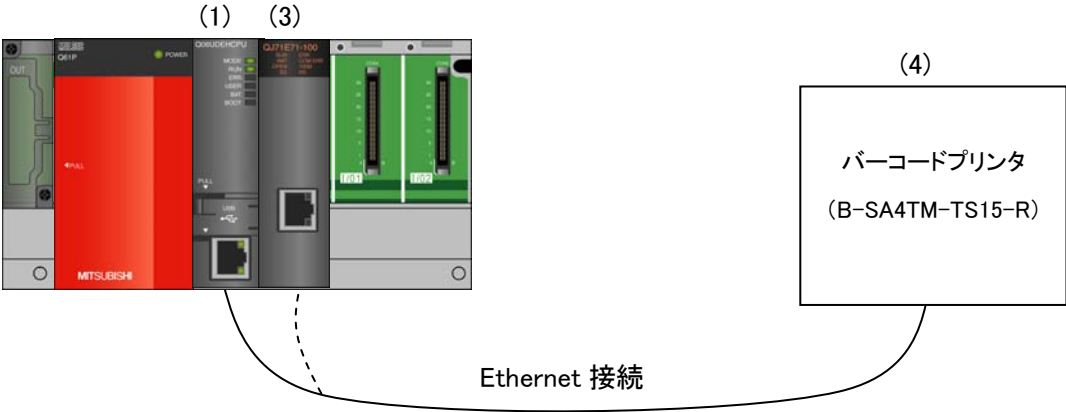
バーコードプリンタへ印字 QR コードの情報をセットします。



4. 12 P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、バーコードプリンタへ印字 QR コード文字列をセットする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M101	P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData	バーコードプリンタと接続を行い、入カラベルの値を印字 QR コード文字列としてセットします。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_SendQRData	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

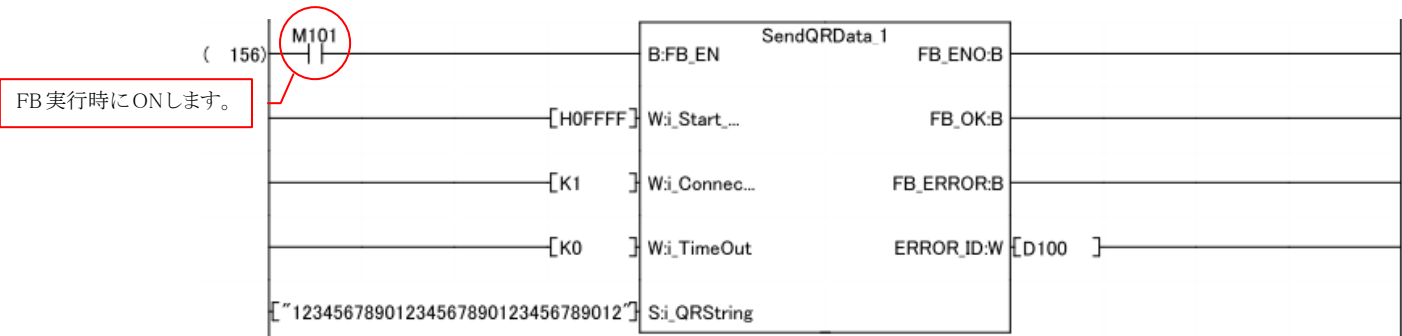
(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0FFFF	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。
QR コード文字列	“12345678901234567890123456789012”	印字するデータ列を指定して下さい。

(4)プログラム

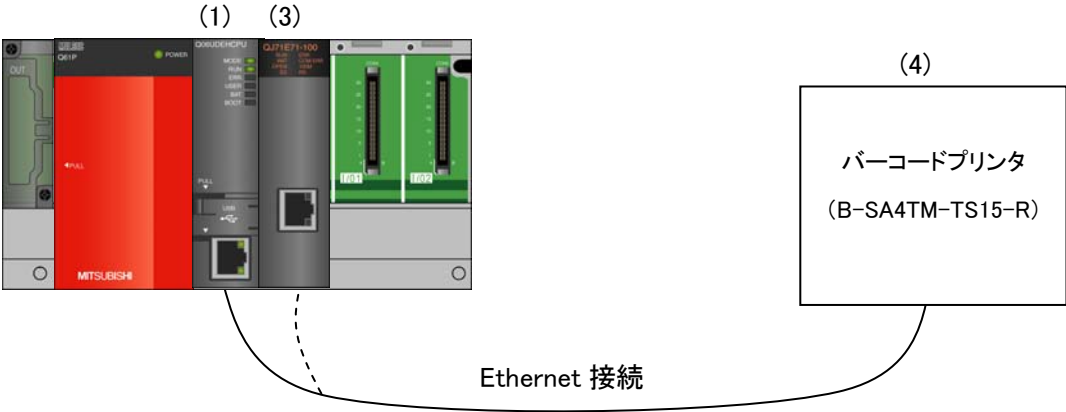
バーコードプリンタへ印字 QR コードの文字列をセットします。



4. 13 P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR

CPU 又は QJ71E71-100 を利用して、QR コード情報の終端命令を送信する場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M102	P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR	バーコードプリンタと接続を行い、QR コード情報の終端命令を送信します。

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D100	P+TEC-B-SA4TM-E_EndQR	入カラベルの内容異常、及びバーコードプリンタとの接続異常時に、エラーコードを出力します。

(3)使用例 設定

■ 共通設定

入出力項目	値	説明
入力 I/O No.	H0FFFF	通信を行う機器の I/O No.を指定します。
コネクション No.	K1	バーコードプリンタと通信を行うコネクション No.を指定します。
タイムアウト時限設定	K0	FB が起動してから終了するまでのタイムアウトの時間を秒単位で入力します。本使用例では 60 秒です。

(4)プログラム

バーコードプリンタへ QR コード情報の終端命令を送信します。

